E&Eの東芝

TOSHIBA

東芝HDD&DVDビデオレコーダー取扱説明書

形名 **RD-2000**

G-CODE®

操作編

最初に「準備編」をお読みください。

- このたびは東芝HDD&DVDビデオレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのHDD&DVDビデオレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元において ご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

もくじ

編　集

機能設定

その他

本取扱説明書では、参照していただきたいページを、□で表しています。□のページもあわせてご覧ください。

はじめに
再生（基本編）
再生（応用編）
録画（基本編）
録画（応用編）
編集
機能設定
その他

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“ 誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること ”を示します。
⚠ 注意	“ 誤った取扱いをすると人が傷害[※1]を負う可能性、または物的損害[※2]のみが発生する可能性のあること ”を示します。

※1：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいいます。
※2：物的損害とは、家屋・家財などにかかわる拡大損害をいいます。

[図記号の説明]

図　記　号　例	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“ ⃠ ”は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
● 強　制	“ ● ”は、**強制**（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

別冊（準備編）の安全上のご注意を必ずお読みください。

ディスクについて

録画／再生できるディスク

	マーク（ロゴ）	内　容
DVD-RAM ディスク	DVD RAM RAM4.7	サイズ：12cm/8cm 12cm（片面 4.7GB/両面 9.4GB） 8cm（片面 1.4GB/両面 2.8GB）

- 本機は著作権保護技術を搭載しているため、「このディスクは、1回コピーが許可された映像の記録にも対応しています。」等の表示がされたディスクを使用すれば、1度だけコピーが許可された映像の録画も可能です。表示がないDVD-RAMディスクでは、1度だけコピーを許された映像であっても録画できません。
- DVD-RAM片面2.6GBディスク及び両面5.2GBディスクは再生できません。
- カートリッジに入っていないDVD-RAMディスクは、ディスクの信頼性上から、録画／再生できない場合があります。
- 8cm DVD-RAMディスクは、カートリッジから取り出して使用してください。取り出し方は、ディスクの説明書をご覧ください。

再生するときの制約

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

リージョン（地域）番号について

本機のリージョン（地域）番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。

再生できるディスク

	マーク（ロゴ）	内　容
DVD ビデオ ディスク	DVD VIDEO DVD VIDEO	サイズ：12cm/8cm リージョン番号： 「2」を含む番号または「ALL」 映像方式：NTSC
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO VIDEO CD	サイズ：12cm/8cm 映像方式：NTSC バージョン 1.1 およびバージョン 2.0（PBC付き）に対応
音楽用 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	サイズ：12cm/8cm

以下のディスクも再生できます。
- CD－R
- CD－RW

CD－DA（音楽用CD）フォーマットのCD－R／RWディスクが再生可能です。
再生できないCD－R／RWディスクもあります。

- 上記以外のディスクは再生できません。
- 再生できる映像方式はNTSC方式です。DVDビデオディスクのリージョン（地域）番号が 2 または ALL であっても、映像方式がPAL/SECAM方式の場合は再生できません。

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル： DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。短編集の「話」に相当します。

チャプター： タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。本の「章」に相当します。

トラック： ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

DVD-RAMディスクまたは内蔵HDDに録画をした場合、1回の録画を１つの「タイトル」とみなします。このタイトルの中に数カ所の境界を設けることで、いくつかの「チャプター」に分けることができます。チャプターに分けると、場面のスキップや検索が便利になります。
録画でできたタイトルやその中のチャプターは、好きなものだけを選び出したり並べ替えたりして、新たなタイトルを作ることもできます。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。
- ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
  専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

DVD-RAMディスクについて

■**本機はDVD-RAM規格Version2.0に準拠したDVD-RAMディスクだけが使用できます**

規格に準拠していないDVD-RAMディスクには記録できませんので、他の規格でフォーマットされたものを使用される場合は、本機のディスク初期化機能を用いて初期化した上でお使いください。

ただし、規格に準拠したDVD-RAMディスクでも、他社の機器やパソコンで記録／編集されたもの、タイトル数が非常に多かったり空き容量が少ないものなどは、録画・編集・ダビング等できない場合があります。また、使用可能なDVD-RAMディスクでも、静止画を含むタイトルなども同様に編集やダビングができない場合があります。

■**本機には、カートリッジDVD-RAMディスク（市販品）をお使いになることをおすすめします**

●DVD-RAMには、カートリッジ付きとカートリッジなしがあります。本機はどちらにも対応しておりますが、カートリッジ付きをお使いになることをおすすめします。

●非常に精密な情報の記録を必要としますので、ディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでも付くと、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。カートリッジ付きの方が指紋やほこりが付きにくいので、安定した録画・再生・編集ができます。

●カートリッジのシャッターは手で開けないでください。中のディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでも入ると、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。

●カートリッジには、中のディスクが取り出せるもの（TYPE2）と取り出せないもの（TYPE1）があります。取り出せるものでも、カートリッジに入った状態でお使いになることをおすすめします。

どうしても取り出したい場合は、ディスクに付属の説明書をご覧ください。

●市販品の中には、カートリッジからディスクを取り出すと、録画・編集できなくなるものがあります。

●万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。

●**録画内容を誤って消さないために**

ライトプロテクトタブ（誤消去防止用のつまみ）を先のとがったもので「PROTECT」側にしてください。再生はできますが、録画や消去はできなくなります。ディスクの説明書もご覧ください。

■**カートリッジなしディスク（市販品）を使うときには**

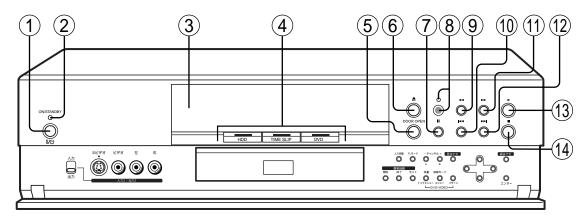
●指紋やほこりを付着させないように、十分気をつけて取り扱ってください。

●万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。

●ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書く場合は、必ず先の柔らかいペンを使ってください。ボールペンなど先のとがった硬いものは使わないでください。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの □ 内のページをご覧ください。

前面

⑤の「DOOR OPEN」ボタンを押して前面の扉を開けた状態です。

①**ON/STANDBY（オン スタンバイ）ボタン** 16

電源を入／待機にします。

②**ON/STANDBY（オン スタンバイ）インジケーター** 16

電源入／待機の状態を表示します。

③**リモコン受光部** 14（準備編）

④**3モードボタン** 22 40 60

録画／再生するメディアを選択します。

⑤**DOOR OPEN（ドア オープン）ボタン** 16

前面扉の開閉をします。

⑥**取出しボタン(⏏)** 16

ディスクトレイの開閉をします。

⑦**一時停止ボタン(❚❚)** 23

再生を一時停止します。

⑧**録画ボタン(●)／録画インジケーター** 62

録画を開始します。

⑨**早戻しボタン(◀◀)** 27

画像を早戻しします。

⑩**スキップボタン(❙◀◀)** 28

後方向のタイトル、チャプター、トラックの頭出しをします。

⑪**早送りボタン(▶▶)** 27

画像を早送りします。

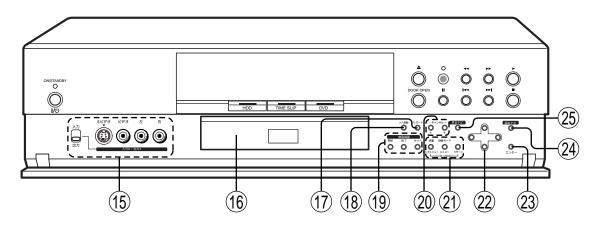
⑫**スキップボタン(▶▶❙)** 28

前方向のタイトル、チャプター、トラックの頭出しをします。

⑬**再生ボタン(▶)** 22

再生を開始します。

⑭**停止ボタン(■)** 23

再生を停止します。

⑮入力2／出力2端子 26〉（準備編）

ビデオやカメラ一体型ビデオなどから映像・音声をダビングするときに使います。

入力／出力切り換えスイッチで、本機から映像・音声を出力することもできます。

⑯ディスクトレイ 17〉

ディスクを入れます。

⑰FLモードボタン 14〉

表示窓の表示モードを変更します。

⑱入力自動ボタン 85〉

BSまたはCSデジタルチューナーなど外部機器の電源が入ると録画を開始する状態を入／切します。

⑲簡易録画ボタン 78〉

・開始　：簡易録画の開始時刻を設定します。
・終了　：簡易録画の終了時刻を設定します。
・セット：簡易録画の予約完了時に押します。

⑳チャンネルー／＋(A/B)ボタン 61〉106〉

・ー／＋：受信チャンネルの選択をします。
・A/B　：設定画面での決定／キャンセルをします。

㉑残量／録画モード／DVD-VIDEOボタン

・残量／トップメニュー：
ディスクの残量を表示します。59〉
DVDビデオディスクの再生では、トップメニューを表示します。24〉

・録画モード／メニュー：
画質を切り換えます。61〉
DVDビデオディスクの再生では、メニューを表示します。

・リターン：
ディスクで指定された画面に戻ります。

㉒方向ボタン 24〉106〉

項目の選択などに使います。

㉓エンターボタン 24〉106〉

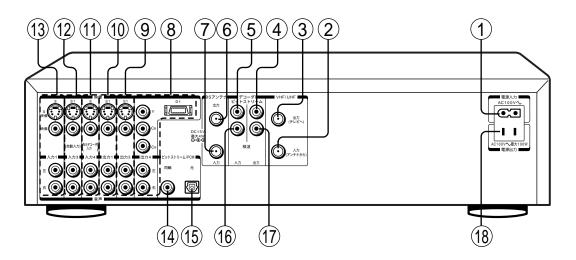
選択した内容を決定するときなどに使います。

㉔録るナビボタン 64〉

「録るナビ」メニューが表示されます。

㉕見るナビボタン 32〉

「見るナビ」メニューが表示されます。

背面

①電源入力端子 17〉(準備編)

付属の電源コードを接続します。

②VHF/UHF入力端子 16〉(準備編)

テレビのアンテナ線を接続します。

③VHF/UHF出力端子 16〉(準備編)

テレビのアンテナ入力端子と接続します。

④ビットストリーム出力端子 24〉(準備編)

WOWOWを受信するために、別売のBSデコーダのビットストリーム入力端子と接続します。

⑤ビットストリーム入力端子 24〉(準備編)

BS内蔵テレビなどのビットストリーム出力端子と接続します。

⑥BSアンテナ出力端子 24〉(準備編)

BS内蔵テレビなどのBSアンテナ入力端子と接続します。

⑦BSアンテナ入力端子 24〉(準備編)

BSアンテナを接続します。

⑧出力4端子 19〉(準備編)

テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。

D1:テレビにD1端子があるときに接続します。

Y、CB、CR:テレビにコンポーネント端子があるときに接続します。

⑨出力3端子 21〉(準備編)

テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。

⑩出力1端子 18〉(準備編)

テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。

⑪入力4(BSデコーダ入力)端子 24〉(準備編)

WOWOWを受信するときに、別売のBSデコーダの映像・音声出力端子と接続します。また、他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてもお使いになれます。

⑫**入力3（自動入力）端子** 25〉26〉**（準備編）**

デジタルCSやデジタルBS放送を受信するときは、入力自動録画をするために、別売のデジタルCSまたはBSチューナーの映像・音声出力端子と接続します。また、他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてもお使いになれます。

⑬**入力1端子** 26〉**（準備編）**

他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてお使いになれます。

⑭**ビットストリーム／PCM同軸端子** 21〉22〉23〉**（準備編）**

音声信号を同軸デジタル出力します。デコーダ内蔵AVアンプなどの同軸デジタル音声入力端子と接続します。

⑮**ビットストリーム／PCM光端子** 21〉22〉23〉**（準備編）**

音声信号を光デジタル出力します。デコーダー内蔵AVアンプなどの光デジタル音声入力端子と接続します。

光デジタルケーブルを接続するときは、キャップをはずし、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。端子を使わないときは、ほこりが付かないようキャップを取り付けてください。

⑯**検波入力端子** 24〉**（準備編）**

BS内蔵テレビなどの検波出力端子と接続します。

⑰**検波出力端子** 24〉**（準備編）**

WOWOWを受信するために、別売のBSデコーダの検波入力端子と接続します。

⑱**電源出力端子** 17〉**（準備編）**

消費電力最大100Wまでの機器が接続できます。

リモコン

(おもて面)

*1 リターンボタン
ディスクで指定された画面に戻ります。
ディスクの説明書もご覧ください。

*2 メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使って再生する 24」と同様の手順で行ないます。
ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

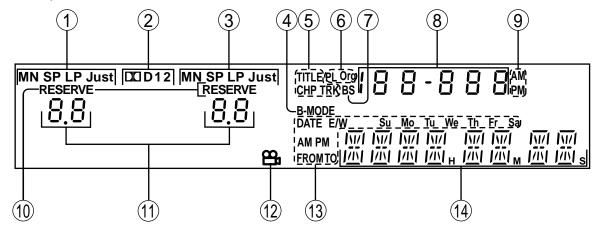
（ふたの中）

初期設定 ボタン 106
削除 ボタン 103
番号 ボタン 30
ダビング ボタン 100
保護 ボタン 102
サーチ ボタン 30
クリア ボタン 30
ふたを手前に起こして
開きます。
初期設定
削除
保護
ダビング
サーチ
クリア

（うら面）

修正 ボタン 68
TV/BS ボタン 74
G延長 ボタン 71
表示部 68
Gコード ボタン 68
画質 ボタン 69
音質 ボタン 69
AM ボタン 76
再来月 ボタン 75
番号 ボタン 61 68 75
毎週／毎日 ボタン 69
設定切換 ボタン
49（準備編）
延長 ボタン 66
入力切換 ボタン 75
DVD/HDD ボタン 68
転送 ボタン 70
PM ボタン 76
来月 ボタン 75
今月 ボタン 75
リモコンうらの
ふたを下へずら
します。

表示窓

表示する内容を説明します。表示窓は、本体またはリモコンの「FLモード」ボタンを押すたびに表示内容が切り換わります。

①**画質モード表示(本機内蔵HDD時)** 61

現在選ばれている画質モードが点灯します。

MN(マニュアル=任意)/SP(スタンダード・プレイ=普通)/LP(ロング・プレイ=長時間)/Just(ジャスト=自動)を表示します。

②**音質表示** 62

内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクで現在選ばれている音声方式(ドルビーデジタル1、2)が点灯します。

③**画質モード表示(DVD-RAM時)** 61

現在選ばれている画質モードが点灯します。

MN(マニュアル=任意)/SP(スタンダード・プレイ=普通)/LP(ロング・プレイ=長時間)/Just(ジャスト=自動)を表示します。

④**Bモード表示** 84

衛星放送でBモード放送を受信しているとき点灯します。

⑤**タイトル、チャプター/トラック表示**

タイトル、チャプター、トラックを表示しているとき点灯します。

⑥**プレイリスト/オリジナル再生モード表示** 89

再生している内容が、プレイリストかオリジナルかを表示します。

⑦**BS放送受信モード表示**

BS放送を受信中に点灯します。

⑧**タイトル(チャプター)番号/チャンネル/外部入力表示** 80

タイトル(およびチャプター、またはトラック)番号、チャンネル、外部入力を表示します。

⑨**現在時刻AM/PM表示**

現在時刻のAM/PMが点灯します。

⑩**録画予約表示**

録画予約設定があるとき点灯します。

⑪**ビットレート値表示** 61

録画時設定されたビットレート値を表示します。

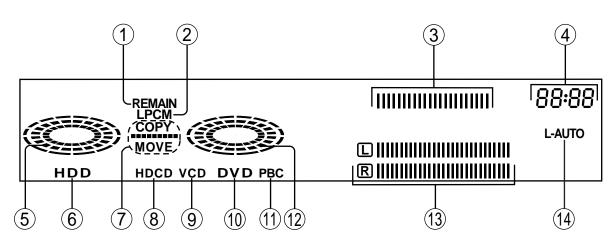
⑫**アングルアイコン表示** 50

マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点滅します。

⑬**録画予約設定表示**

録画予約を設定するとき、選択した項目が点灯します。

⑭**マルチ表示**

経過時間、メッセージ、残量、録画予約日時、Gコード予約設定、音声/音多モードなどを表示します。

①**残量表示** 59

残量表示のとき点灯します。

②**LPCM(リニアPCM)表示** 62

内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクで現在選ばれている音声方式がリニアPCMのとき点灯します。

③**ビットレートバー表示**

現在のビットレート値を表示します。

④**現在時刻**

現在の時刻を表示します。

⑤**HDDメディア表示**

メディアとして内蔵HDDを選択しているとき、再生・録画や残量などを表示します。

⑥**HDD表示**

内蔵HDDを示して点灯しています。

⑦**HDD-DVD移動/コピー方向表示** 100

どちらにコピーまたは移動中かを表示します。

⑧**HDCD表示** 23

HDCD対応のCDを再生しているときに点灯します。

⑨**VCD/CD表示**

ビデオCDまたは音楽用CDを再生しているときに点灯します。

⑩**DVD表示**

DVD-RAMディスクまたはDVDビデオディスクが選択されているときに点灯します。

⑪**PBC表示**

PBC付きビデオCDを再生しているときに点灯します。

⑫**DVDメディア表示**

メディアとしてDVD-RAM、ビデオCD、音楽用CDを選択しているとき、再生・録画や残量などを表示します。

⑬**音声出力レベルメーター**

アナログ音声の出力レベルを表示します。
L+R:ステレオおよび二重放送(主+副)
L:左チャンネル(主音声)
R:右チャンネル(副音声)
L、R消灯:モノラル(主音声)

⑭**入力自動(ラインオート)表示** 85

入力自動設定のとき点灯します。

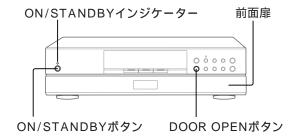
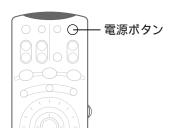
操作をはじめる前に

■ 準備はお済みですか？

別冊の「準備編」をご覧になり、必要な準備を済ませてください。

■ 電源の入れかた

（本書は、本体および本体に接続した機器（テレビなど）の電源がすべて入っていることを前提に説明しています。）

電源を入れるには、本体の「ON/STANDBY」ボタンまたはリモコンの「電源」ボタンを押します。

電源が入ると、本体のON/STANDBYインジケーターが、赤（待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。
数秒後にスタートアップ画面が表示され、本体表示窓が点灯します。
次に画面の右上に「Loading」のアイコンが表示されます。

「Loading」アイコンが点滅している間は、本機内部で立ち上げ動作をしていますので、本体ボタンやリモコンの操作は受け付けません。
このアイコンが消えると、本機は操作できる状態になります。ディスクが入っている状態では、これら起動時間が若干長くなる場合があります。

■ 前面扉の開けかた／閉めかた

本体の「DOOR OPEN」ボタンを押します。

お知らせ

- 扉の開け閉めは、手などで力を加えず本体の「DOOR OPEN」ボタンで行なってください。
- 扉を開けた状態で、扉に力を加えたり、扉の上に物を載せたりしないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイが出ている状態で「DOOR OPEN」ボタンを押すと、ディスクトレイが引き込まれてから扉が閉まります。
- 扉が閉じた状態で「▲（取出し）」ボタンを押すと、扉が開いてからディスクトレイが出てきます。
- 前面のS端子またはビデオ端子にコードが接続されている状態のときには、扉は閉まりません。

■ ディスクの入れかた

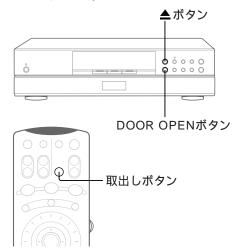
ディスクを入れてお使いになるときは、本機で使用できるディスクをご確認のうえ、正しくお使いください。（5ページ）

⚠注意

- ディスクトレイに、手を入れないこと。
  指をはさみ、けがの原因となることがあります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。

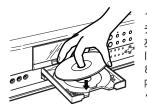
禁　止

1　ディスクトレイを開ける

本体の「▲」ボタンまたはリモコンの「取出し」ボタンを押します。

2 ディスクを入れる

カートリッジなしのディスク

再生面を下にして置きます。

再生するディスクによってディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。

12cmディスクの場合は、ディスクトレイの手前側の左右の突起にのせずに側面に沿わせるように置きます。8cmディスクの場合は、内側の溝に合わせて置いてください。

TYPE1/TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク

片面ディスク

印刷がある面を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように入れます。

両面ディスク

記録／再生する面の表示を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように入れます。

3 ディスクトレイを閉める

本体の「⏏」ボタンまたはリモコンの「取出し」ボタンを押します。

ディスクトレイを閉めたあと扉も閉めるには、本体の「DOOR OPEN」ボタンを押してください。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行ってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。

■ 電源の切りかた

本体の「ON/STANDBY」ボタン、またはリモコンの「電源」ボタンを押します。

画面右上に「Unloading」のアイコンが表示され、ON/STANDBYインジケーターが赤に変わり、そのあと電源が切れます。

ご注意

- 動作中(ON/STANDBYインジケーターが緑点灯)に停電や電源プラグをコンセントから抜いた場合は、内蔵HDD(ハードディスク)とDVD-RAMディスクに録画できなくなる場合があります。
  万一そのような状態になった場合、本機のディスク初期化機能を用いて初期化すれば、録画できるようになりますが、そのときには録画されていた内容はすべて消去されてしまいますので注意してください。
- 本機で使用すると異常を示すアラート(警告)表示が出るDVD-RAMディスクを、本機以外の機器で録画／再生すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなる可能性がありますので注意してください。ディスクを初期化して正常な状態に戻した場合は問題なく使用できます。
- 内蔵HDDやDVD-RAMドライブが動作しなくなった場合、ただちに本機の使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。異常なままで使用していると、破損の程度が進み、修理に時間と費用がかかる場合があります。

お知らせ

- 本機が操作中に止まってしまい、10分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンにも反応しなくなった場合は、本体の「ON/STANDBY」ボタンまたはリモコンの「電源」ボタンを約10秒間押し続けると、強制的に電源を切ることができます。ただし、非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用されるときは、十分注意してください。正常な動作中、特に「Loading」のアイコンの点滅中などに行なうと、内蔵HDDを初期化しなければならなくなる場合もあります。

■ GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)の使いかた

再生するとき、録画するとき、あるいは設定を好みで変えるときなど、本機のほとんどの機能は、専用の画面表示が用意されていて、その上で操作ができるようになっています。
おもな操作方法は、画面下部の「操作ガイド」をご覧ください。リモコンのボタンの使いかたを、絵表示でお知らせしています。

例

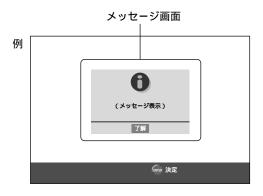
操作ガイド

絵表示の例		おもな機能
	方向キー	項目を選びます。
	「ENTER」ボタン	選んだ項目や設定内容を決定します。
	「HDD」ボタン	モードの切り替えに使います。
	「A」ボタン	表示内容を切り換えます。
◄◄ 前頁	ジョグスイッチを下に動かす	前のページの表示に戻ります。
次頁 ►►	ジョグスイッチを上に動かす	次のページの表示へ進みます。
	ジョグダイヤルを回す	数値を入力したり設定を切り換えます。
123 456 789	番号ボタン (リモコンおもて面のふたを開けてください)	数値を入力します。
編集	「編集ナビ」ボタン	「編集ナビ」画面を表示/終了します。
初期設定	「初期設定」ボタン (リモコンおもて面のふたを開けてください)	機能設定画面を表示/終了します。

■ メッセージが現れたら

操作中、メッセージ画面が表示されることがあります。状況により内容と性格は異なりますが、おもに以下のように操作してください。

例

例

選択項目が2つ

方向キー(◄/►)でどちらかを選んだあと(緑色で選択)「ENTER」ボタンを押してください。
メッセージ画面が消えます。
メッセージ画面が消えるまで、方向キーと「ENTER」ボタン以外の操作は受け付けません。

選択項目が1つ

内容を確認したら「ENTER」ボタンを押してください。
メッセージ画面が消えます。
メッセージ画面が消えるまで、「ENTER」ボタン以外の操作は受け付けません。

選択項目なし

数秒で自動的に消えます。
メッセージ画面が消えるまで、「ENTER」ボタン以外の操作は受け付けません。

■ 起動時／終了時のアイコン表示

起動時／終了時に画面右上に出るアイコンには次のようなものがあります。これらが点滅している間は、本機はそれぞれ以下の処理を行なっています。

起動・ディスクの読み込み・録画終了

ディスクの取り出し・終了

トレイの引き出し

トレイの収納

■ 本機のおもな使いかたと対応ディスク

本機ではおおまかに以下のような使い方ができます。それぞれのページをご覧ください。
●印がお使いになれるディスクの種類です。
（応用的な使い方や機能については、巻頭のもくじをご覧ください。）

	内蔵 HDD	DVD-RAM ディスク	DVD ビデオ ディスク	ビデオ CD	音楽 CD	
ディスクを再生する	●	●	●	●	●	22
好きな順番で再生する			●	●	●	42
好きな順番で再生する	●	●				96
くり返して再生する	●	●	●	●	●	44
順不同に再生する			●	●	●	46
好きな部分を頭出しする	●	●				32
番号で頭出しする	●	●	●	●	●	30
ディスクの内容を確認する	●	●				32
ディスクの情報を見る	●	●				32
テレビ番組を録画する	●	●				60
録画予約する	●	●				64
録画した内容をダビングする	●	●				100
録画した内容を消す	●	●				103

■ DVDビデオディスクジャケットのマークについて

DVDビデオディスクのジャケットに表記されている例を紹介します。

マーク例	内容
2	記録されている音声の数を表わしています。 （本例では、日本語、英語などのような2種類の音声が収録されています。）
2	記録されている字幕の数を表わしています。 （本例では、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています。）
3	記録されている角度（マルチアングル）の数を表わしています。 （本例では、3種類の角度で収録されています。）
4:3 LB 16:9 LB 16:9 PS	横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。 レターボックス（横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面）で記録されていることを示します。 横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されていることを示します。 横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ（4：3）のテレビの場合はパン＆スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生されるように指定されていることを示します。 テレビに映し出される映像は、テレビの画面サイズ（横：縦）やテレビの画面モードによって異なります。

本取扱説明書について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。

- HDD ：内蔵HDD（ハードディスクドライブ）
- DVD RAM ：DVD-RAMディスク
- DVD VIDEO ：DVDビデオディスク
- VCD ：ビデオCD
- CD ：音楽用CD

また操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使い方も同じです。

より高画質でお楽しみいただくために

DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネスコントロール）を下げるとノイズが減り、見やすくなります。

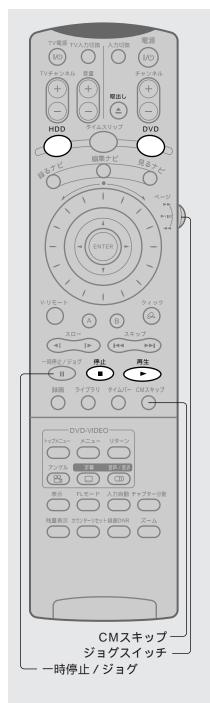
再生（基本編）

画像を映してみましょう。

- ●再生する
- ●進む／戻る
- ●番号を使ってサーチする
- ●見たい場面を選ぶ（見るナビ）
- ●録画履歴から選んで再生する

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

再生する

市販のディスクや自分で録画した内容を再生します。録画のしかたについては58〉ページをご覧ください。

1 テレビやオーディオシステムなど、接続機器の電源を入れ、本機をつないでいる入力に切り換える

テレビの操作に本機のリモコンを使うには、別冊「準備編」46〉ページの設定を、あらかじめ行なってください。

2 停止中に、3モードボタン（「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタン）を押して、動作モードを選ぶ

- 内蔵ＨＤＤの記録内容を再生したいときは、「HDD」ボタンを押します。
- トレイの中のディスクを再生したいときは、「DVD」ボタンを押します。

動作モードを選ぶと、本体の3モードボタンが点灯します。たとえば「DVD」ボタンを点灯させると、本機が、トレイの中のディスクを操作する状態（DVDモードといいます）になったことを示します。

3 ディスクを再生するときは、本機にディスクを入れる16〉

- 市販のディスクによっては、自動的にメニュー画面が表示されることがあります。24〉ページの「トップメニューを使って再生する」をご覧ください。

4 「再生」ボタンを押す

HDD DVD-RAM（ライトプロテクトされていないもの）
前に再生を止めたところから再生がはじまります。（くわしくは26〉ページをご覧ください。）

DVD-VIDEO VCD CD および DVD-RAM（ライトプロテクトされたもの）
DVDモード時は、本機にディスクを入れただけで自動的に再生がはじまります。

再生がはじまるまで、多少時間がかかることがあります。これは、ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

5 「停止」ボタンを押して、再生を止める

お知らせ

- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまいます。
- 再生が終わった後、最後の場面で一時停止したりメニュー画面などが表示される場合があります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、接続しているテレビ画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」ボタンを押して、再生を終了してください。
- 内蔵HDD、DVD-RAMディスクの場合は、再生するとタイトルの終わりで一時停止になります。
- 内蔵HDDを再生している間は、ディスクの出し入れができません。再生を停止してからディスクを出し入れしてください。

■ 再生を一時停止する(静止画再生)

「一時停止／ジョグ」ボタン、またはジョグスイッチを押す

- 普通の再生に戻すには、「再生」ボタン、またはジョグスイッチを押します。

お知らせ

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

■ CMをとばして見る HDD DVD-RAM

再生中に、「CMスキップ」ボタンを押す

約27秒先までスキップし、そこから自動的に再生します。
連続してボタンを押した場合は、2回目以降約30秒ずつ加算してスキップします。

ブラウン管保護機能

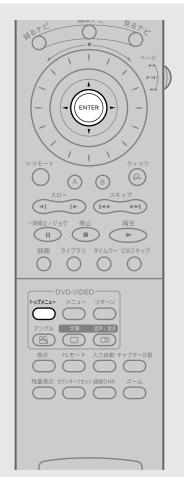
再生を一時停止した状態や、本機の各種メニューなどの表示を約15分間続けたままで何も操作しなかったときは、チューナーまたは外部入力の画面になります。

HDCD (High Definition Compatible Digital®)の再生

HDCDは、従来の音楽用CDより大きなダイナミックレンジ、立体的な音場感、自然なボーカル感で再生できます。
本機は、このHDCDに対応するデコーダーが内蔵されています。HDCD対応の音楽用CDを再生しているときは、表示窓に「HDCD」が点灯します。

HDCD®、HDCD®、High Definition Compatible Digital®（高解像対応ディジタル）およびPacific Microsonics™ は、米国及び／或いはその他の国においてPacific Microsonics社の登録商標または商標です。HDCDシステムはPacific Microsonics社のライセンスの下に製造されています。本製品は、以下に挙げる一つ或いは複数の特許に該当しています。米国特許: 5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531、オーストラリア特許: 669114、およびその他の出願中特許。

トップメニューを使って再生する DVD VIDEO

多くのDVDビデオディスクには、全体の構成を確かめたり見たい場面が選べるように、おもにトップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されています。たいていは一定の場所で自動的に表示したり、必要なときに呼び出すようになっています。詳細はディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を説明します。それぞれのディスクの説明書もあわせてご覧ください。

1 「トップメニュー」ボタンを押す

トップメニューが表示されます。

例

2 方向キー（▲/▼/◀/▶）で、再生したいタイトルを選ぶ

各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 「ENTER」ボタンを押す

選んだタイトルのチャプター1から再生がはじまります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、「ENTER」ボタンを押さずにもう一度「トップメニュー」ボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

状態表示

操作をすると、以下のようなマークが画面に約3秒間表示され、動作の状態を示します。

おもな状態表示
(ディスクによっては該当しないものがあります。)

- ▶ ：再生
- ❚❚ ：一時停止
- ■ ：停止
- ▶▶ ：早送り
- ◀◀ ：早戻し
- ▶▶❘ ：進む方向のスキップ(頭出し)*
- ❘◀◀ ：戻る方向のスキップ(頭出し)*
- ❘▶x1/2：進む方向のスローモーション
- ◀❘x1/2：戻る方向のスローモーション
- ❚❚▶ ：コマ送り
- ◀❚❚ ：コマ戻し
- ● ：録画
- ●❚❚ ：録画一時停止

* マークと同時にタイトル番号およびチャプター番号(ビデオCD、音楽CD使用時はトラック番号)も表示します。

状態表示のほかに、設定の状況なども追加して表示させることもできます。54ページをご覧ください。

お知らせ

- テレビの放送を本機を通してご覧になっているときは、操作に応じて画面の右側にチャンネル番号が表示されます。

経過時間表示(本体表示窓)

再生中は、経過時間が本体表示窓に表示されます。

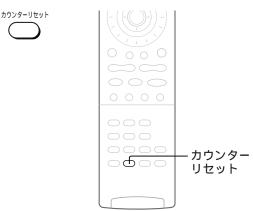
経過時間は、タイトルとチャプターそれぞれの先頭からのカウントです。
(ビデオCD、音楽CDの場合は、ディスクとトラックの先頭からのカウントです。)
(次の場合は、カウンターの出発点が異なります。
・タイトル(PL)を再生したとき
＝タイトル(PL)の先頭からの経過時間
・「見るナビ」32でタイトルを選んで再生したとき
＝タイトルの先頭からの経過時間)

お知らせ

- 経過時間は画面上でも確認できます。55ページをご覧ください。

■ カウンターをリセットする HDD DVD RAM

リモコンの「カウンターリセット」ボタンを押す

カウンターが「00：00：00」になります。

お知らせ

- 録画中、TVお好み再生中、追っかけ再生中には「カウンターリセット」ボタンを押しても「00：00：00」になりません。

最後に止めた位置から再生する（続き再生）

DVD VIDEO　VCD　CD　（ライトプロテクトされたDVD-RAMディスク）

本機には、最後に再生を止めた位置を、電源を切ったあともディスクやタイトルごとに自動的に記憶しておく機能があります。次に本機で再生するときにこの記憶を利用しますので、前回の続きがすぐに見られます。

再生を止めたあと、「再生」ボタンを押すと、止めた続きが再生されます。
再生を止めたあと、もう一度「停止」ボタンを押すと続き再生が解除されます。

お知らせ

- ディスクの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生がはじまるなど、続き再生のはじまる位置が異なることがあります。
- 機能設定画面で、「DVDディスクメニュー言語」109や「DVDパレンタルロック」113の設定などを行ったときは、続き再生にならずディスクの最初から再生がはじまります。
- ディスクによって、続き再生のはじまる位置が多少ずれることがあります。
- ビデオCDをPBC再生しているときは、続き再生にはなりません。

■ 内蔵HDDおよびDVD-RAMディスクをお使いの場合は（レジューム再生）

最後に止めた位置が、ディスクごとの最後の１か所だけではなく、タイトルごとでもそれぞれの位置が記憶されていきます。

これは、再生を止めた位置に目印をつけておけるという、書き込み可能なディスクの利点を使ったしくみです。

この機能により、たとえばディスクの中に6つのタイトルが録画してあれば、あたかも6本のビデオテープがあるかのように、それぞれを、止めた位置から続きを再生することができます。「見るナビ」画面（32ページ）でタイトルを選んで再生してください。

お知らせ

- 続き再生をしないでディスクの最初から再生するには、「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示させ、方向キー（▲/▼）で「タイトル先頭から再生」を選び、「ENTER」ボタンを押してください。
- この機能を使わないで再生したいときは、初期設定の「タイトル毎レジューム設定」（116ページ）を「切」に設定してください。

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

進む／戻る

早送り／早戻しする HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

再生

1 普通の再生中に、ジョグスイッチを ▶▶ または ◀◀ の方向に動かす

▶▶：早送り
◀◀：早戻し

ジョグスイッチを上下に動かすたびに、再生する速さが切り換わります。

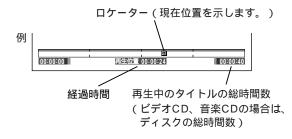
お知らせ

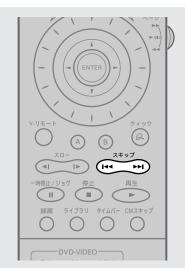
- 早送り／早戻し中は、音声と字幕（副映像）は再生されません。
- 早送り／早戻しの速さは、再生するディスクによって異なります。

■ 普通の再生に戻すには

ジョグスイッチ、または「再生」ボタンを押す

■ タイムバー表示

早送り／早戻し中は、画面にタイムバーが表示されます。

ロケーターの付近を拡大して表示することもできます。詳細は 55 をご覧ください。

前後のチャプター／トラックへスキップする HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

1 「スキップ（⏮/⏭）」ボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

スキップ

選んだチャプター／トラックから再生がはじまります。

⏭：１つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

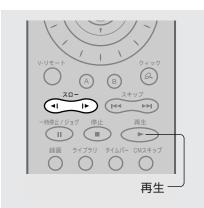
⏮：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
つづけて2度押すと、１つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

- タイトルによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- DVDビデオディスクの場合、「DVDビデオタイトル停止」（114ページ）を「無」に設定しているときは、他のタイトルのチャプターも頭出しできます。ただし、「スキップ（⏮）」ボタンで前のタイトルに戻ったときは、そのタイトルの最初のチャプターが頭出しされます。「DVDビデオタイトル停止」が「有」に設定されているときは、現在のタイトル内だけでチャプターの頭出しができます。

スローモーションで再生する HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

1 再生中に、「スロー」ボタンを押す

スロー

I▶：進む方向のスローモーションで再生します。
◀I：戻る方向のスローモーションで再生します。

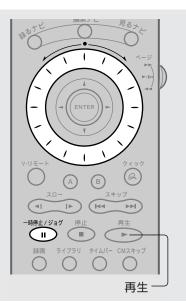
押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

お知らせ

- ビデオCD再生やTVお好み再生および追っかけ再生時は、戻る方向のスローモーションはできません。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタンを押す

コマ送り／コマ戻しで再生する HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

1 再生中に、「一時停止／ジョグ」ボタンを押す

静止画になります。

2 ジョグダイヤルを回す

右方向：コマ送り
左方向：コマ戻し

何も操作しないでしばらくたつと、ジョグダイヤルが解除されます。そのときは、手順1からやり直してください。

お知らせ

- コマ送り／コマ戻し再生中は、音声は再生されません。
- コマ戻し再生は、スムーズな連続動画になりません。
- TVお好み再生および追っかけ再生時は、コマ戻しはできません。
- ビデオCDはコマ戻しできません。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタンを押す

静止画をめくる（静止画が記録されたディスクの再生） DVD RAM

1 「再生」ボタンを押す

静止画の1枚目が再生されます。

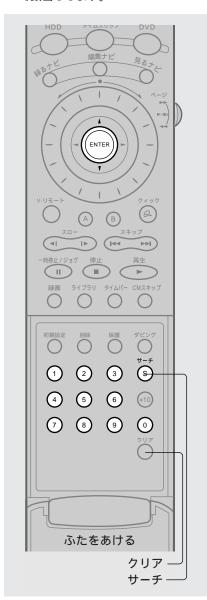
2 ジョグダイヤルを回す

右方向：次の静止画が再生されます。
左方向：前の静止画が再生されます。

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

番号を使ってサーチする

番号を指定して頭出しする HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。

1 「サーチ」ボタンを押す

ビデオＣＤ／音楽用ＣＤのときは、手順２は不要です。

例：

2 方向キー（▲/▼）で、頭出し先（「タイトル」または「チャプター」）を選ぶ

例：チャプターを頭出しする

3 番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する

例：チャプター／トラック番号２５を入力する
「2」→「5」の順に押す

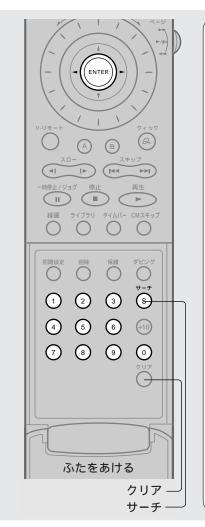
2 → 5

4 「ENTER」ボタンを押す

選んだ箇所から再生がはじまります。

お知らせ

- 「クリア」ボタンを押すと、入力する番号の表示が消えます。表示そのものを消すときは、「サーチ」ボタンを数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- 内蔵ＨＤＤおよびDVD-RAMディスクでタイトルを削除すると、以降のタイトルは番号が繰り上がります。
- 新たに録画したタイトル（オリジナル）は、タイトル（プレイリスト）の前に挿入され、タイトル（プレイリスト）は番号が１つずつ繰り下がります。

経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ） HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

1 「サーチ」ボタンを押す

ディスクの種類で押す回数が異なります。
下の表示が出るまで押してください。

例

タイトル 001
サーチ 時間 00:00:00

2 番号ボタンと方向キー（◀/▶）で、時間を入力する

例：1時間25分30秒を入力するには

「0」→「1」→「▶」→「2」→「5」→「▶」→「3」→「0」

「0」→「1」：時間　「2」→「5」：分　「3」→「0」：秒

3 「ENTER」ボタンを押す

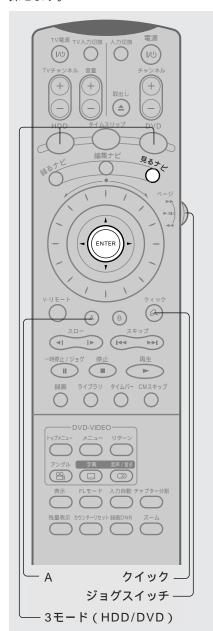
指定したところから再生が始まります。

お知らせ

- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。
- タイムサーチできるのは、内蔵HDD、DVD-RAMディスク、DVDビデオディスクでは現在選択している同じタイトル内、ビデオCD／音楽用CDでは現在選択している同じトラック内です。
- 「クリア」ボタンを押すと、入力した項目の時間表示が「00」になります。

HDD DVD RAM

見たい場面を選ぶ(見るナビ)

タイトルやチャプターごとに、冒頭の場面を並べて一覧表示(サムネイル表示)できるので、見たい内容が簡単に探せます。

1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

次のような表示(「見るナビ　タイトル一覧」画面)が出ます。

例

3モードボタン(「HDD」または「DVD」)を押せば、内蔵HDDとDVD-RAMディスクを切り換えられます。

2 方向キー(▲/▼/◀/▶)で、見たいタイトル(またはチャプター)を選ぶ

- ジョグスイッチで前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「ENTER」ボタンを押す

選んだタイトル(またはチャプター)から再生がはじまります。

お知らせ

- 画面表示を消すには、「見るナビ」ボタンを押します。
- タイトル数が多く記録されたディスクや本機以外で録画したDVD-RAMディスクを使用しているときは、画面の表示に時間がかかることがあります。
- 内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクの内容を「見るナビ」画面で表示させたとき、タイトルやチャプターについている「II」は、「タイトル毎レジューム設定」(116ページ)が「入」になっていると表示されます。このときはディスク内のすべてのタイトルごとに、前回再生を止めた位置を記憶して、そこから再生することができます。
- 内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクに入っているタイトルは、手順1の表示を他の場面に変えることができます。99ページをご覧ください。(チャプターの場面表示は変えられません。)

■ 選んだタイトル(またはチャプター)のくわしい情報を見る

1) 手順2でタイトル(またはチャプター)を選んだあと、「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向キー(▲/▼)で「タイトル情報」を選び、「ENTER」ボタンを押す

タイトル(またはチャプター)のくわしい情報が表示されます。

タイトルを選んでいたときの例：

例

お知らせ

- 画面下部に「タイトル名入力」「ジャンル変更」「録画日時入力」の項目が表示されます。方向キー(▲/▼/◀/▶)で項目を選び、画面にしたがって入力すると、録画内容の管理や、ライブラリでの検索が簡単になります。
  また「保護設定」を選ぶと、録画されたタイトルの保護を設定できます。
  「録画日時入力」は、外部入力の録画のときだけ設定ができます。本機内蔵チューナーでの録画では変更できません。
- 「B」ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- 手順を途中でやめるときは、「見るナビ」ボタンを押します。

■ タイトル(オリジナル)の各冒頭部分だけを再生してみて選ぶ(イントロスキャン)

1) 停止中、または手順1を行ったあと、「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向キー(▲/▼)で「イントロスキャン」を選び、「ENTER」ボタンを押す

タイトル1から順に、それぞれの冒頭部分が約5秒ずつ再生されます。

「スキップ」ボタンで、前後に移動できます。

▶▶▎：次のタイトルへ移動

▎◀◀：現在のタイトルの先頭へ移動
続けて2回押すと、前のタイトルへ移動

3) 見たいタイトルになったら、「ENTER」ボタンを押す

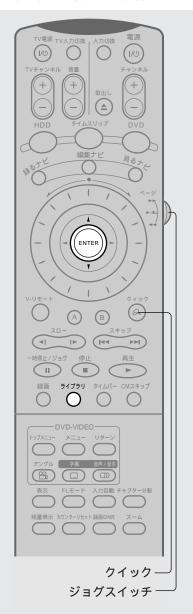
そのタイトルが再生されます。

お知らせ

- イントロスキャンを途中で止めるには、「停止」ボタンを2回押します。

HDD DVD RAM

録画履歴から選んで再生する

本機は録画のたびに、どのディスクにいつ、どんな設定で録画したかを記憶しています。これらの録画情報の一覧表示を使えば、見たい内容がどのディスクにはいっているかが簡単にわかります。

1 停止中に、「ライブラリ」ボタンを押す

「タイトル一覧」が表示されます。

例

ジョグスイッチで前後のページに移動できます。

2 方向キー（▲/▼）で、見たいタイトルを選ぶ

曜日など特定の条件で検索できます。次のページをご覧ください。

3 「ENTER」ボタンを押す

指定したタイトルの再生がはじまります。

- 内蔵HDDの内容を見るときは、3モードボタンの「HDD」ボタンを押してから、「ENTER」ボタンを押します。
- DVD-RAMディスクの内容を見るときは、表示されているディスク番号のDVD-RAMディスクを入れて、3モードボタンの「DVD」ボタンを押してから、「ENTER」ボタンを押します。
  （ディスク番号とは、録画時にディスクごとに自動的に本機が割りふるDVD-RAMディスクの管理番号です。この番号をジャケットなどにメモしておくと便利です。）

お知らせ

- 手順を途中でやめるには、「ライブラリ」ボタンを押します。

条件をつけて検索する

「ライブラリ」ボタンで表示させたタイトルは、以下の条件でさらにしぼり込むことができます。

●ディスクで検索する：
　タイトルを選んでおき、そのタイトルと同じディスクに入っているタイトルを選び出します。
●ジャンルで検索する：
　映画、ドラマなどジャンルを指定して、そのジャンルで登録してあるタイトルだけを選び出します。
●曜日で検索する：
　連続ドラマ、アニメなどの検索に便利です。録画した曜日（日〜土）を指定して、その曜日に録画したタイトルだけを選び出します。

■ ディスクで検索するには

1)手順2でタイトルを選んだあと、「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向キー（▲/▼）で「ディスク別表示」を選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだタイトルと同じディスクに入っているタイトルが選び出されます。

手順1の表に戻りたいときは、「クイック」ボタンを押し、方向キー（▲/▼）で「全タイトル一覧表示」を選び、「ENTER」ボタンを押します。

3) 方向キー（▲/▼）で、見たいタイトルを選び、「ENTER」ボタンを押す

■ ジャンルで検索するには

1) 手順1のあと、「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向キー（▲/▼）で「ジャンル別表示」を選び、「ENTER」ボタンを押す

さらにメニューが表示されます。

3) 方向キー（▲/▼）でジャンルを選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだジャンルで登録してあるタイトルが選び出されます。

手順1の表に戻りたいときは、「クイック」ボタンを押し、方向キー（▲/▼）で「全タイトル一覧表示」を選び、「ENTER」ボタンを押します。

4) 方向キー（▲/▼）で、見たいタイトルを選び、「ENTER」ボタンを押す

■ 録画した曜日で検索する

1) 手順1のあと、「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向キー（▲/▼）で「曜日別表示」を選び、「ENTER」ボタンを押す

さらにメニューが表示されます。

3) 方向キー（▲/▼）で曜日を選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだ曜日に録画したタイトルが選び出されます。

手順1の表に戻りたいときは、「クイック」ボタンを押し、方向キー（▲/▼）で「全タイトル一覧表示」を選び、「ENTER」ボタンを押します。

4) 方向キー（▲/▼）で、見たいタイトルを選び、「ENTER」ボタンを押す

ライブラリの情報を管理する

ライブラリ情報は、本機が内部で自動的に管理をしていますが、次のようなときは、それぞれの方法でライブラリ情報の整理をしてください。

- 本機以外で録画したディスクを使うときなど、**本機にないタイトル情報を、ライブラリに追加したい**とき。
  - →「ディスクのタイトル情報をライブラリに追加する」をご覧ください。
- **ライブラリ情報が記憶容量いっぱいになった**とき。（本機のライブラリは1000件まで登録できます。最大数に達したときはメッセージが出て、追加ができなくなりますので、不要な情報を削除するなど整理をしてください。）
  - →「不要なライブラリ情報を消す」をご覧ください。
- ライブラリ情報を外部ディスクに**バックアップとして保存**するとき。
  - →「バックアップを保存する」をご覧ください。
- バックアップ保存していた**ライブラリ情報を、本機に戻す（上書きする）**とき。
  - →「バックアップ保存データの上書き」をご覧ください。

お知らせ

- 内蔵HDDのライブラリ情報はDVD-RAMディスクにバックアップを作成することをお勧めします。ただし、バックアップを書き戻した場合、バックアップ以後に追加されたライブラリ情報は削除されますので、ご注意ください。

■ ディスクのタイトル情報をライブラリに追加する

1）DVD-RAMディスクを本機に入れる

2）「ライブラリ」ボタンを押す

3）「クイック」ボタンを押す

4）方向キー（▲/▼）で「ライブラリ管理」を選び、「ENTER」ボタンを押す

5）方向キー（▲/▼）で「手動ディスク登録」を選び、「ENTER」ボタンを押す

6）方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

登録を中止したいときは「いいえ」を選びます。

ディスクの全タイトル情報がライブラリに登録されます。

■ 不要なライブラリ情報を消す

記録（タイトル）件数が1000件を超えたときに行ないます。

→「ライブラリから削除（タイトル）」：

1）「ライブラリ」ボタンを押す

2）方向キー（▲/▼）で、消すタイトルを選ぶ

3）「クイック」ボタンを押す

4）方向キー（▲/▼）で、「タイトル削除」を選び、「ENTER」ボタンを押す

5）方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

2）で選んだタイトルの情報をライブラリから削除します。

削除を中止したいときは「いいえ」を選びます。

空きディスク番号がなくなったときに行ないます。

→「ライブラリから削除（ディスク）」：

1）「ライブラリ」ボタンを押す

2）方向キー（▲/▼）で、消すディスクを選ぶ

3）「クイック」ボタンを押す

4）方向キー（▲/▼）で、「ディスク削除」を選び、「ENTER」ボタンを押す

5）方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

2）で選んだタイトルのディスクに含まれる全タイトルの情報を、ライブラリから削除します。

削除を中止したいときは「いいえ」を選びます。

■ バックアップを保存する

1）保存に使うDVD-RAMディスクを本機に入れる

2）「ライブラリ」ボタンを押す

3）「クイック」ボタンを押す

4）方向キー（▲/▼）で、「ライブラリ管理」を選び、「ENTER」ボタンを押す

5）方向キー（▲/▼）で、「バックアップ作成」を選び、「ENTER」ボタンを押す

6）方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

保存を中止したいときは「いいえ」を選びます。

■ バックアップ保存データの上書き

1）データを保存してあるDVD-RAMディスクを本機に入れる

2）「ライブラリ」ボタンを押す

3）「クイック」ボタンを押す

4）方向キー（▲/▼）で、「ライブラリ管理」を選び、「ENTER」ボタンを押す

5）方向キー（▲/▼）で、「バックアップ書戻し」を選び、「ENTER」ボタンを押す

6）方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

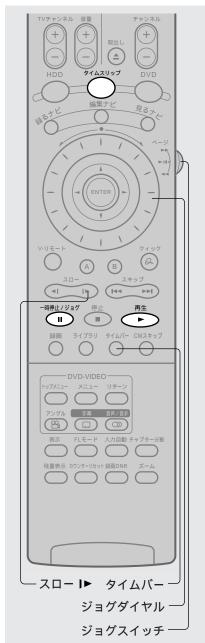
上書きを中止したいときは「いいえ」を選びます。

再生（応用編）

豊富なGUI（グラフィカル・ユーザー・インターフェイス）機能で、いつもの再生がより簡単に、より多彩に楽しめます。

HDD

番組をとめてあとで見る（TVお好み再生）

放送中の番組やこれから見る番組を、一時的に本機の内蔵HDDにたくわえておくことで、ふいの電話や来客などがあっても番組を一時停止し、あとで続きを見ることができます。くり返したりスローにしたりと、決定的瞬間をじっくり見るときにも役立ちます。

1 本機を通して番組を見ているとき、または番組がはじまる直前に、「タイムスリップ」ボタンを押す

タイムスリップ

現在見ている番組の映像が一時停止状態になります。
ボタンを押してからの放送内容は、内蔵HDDに一時的に記録されていきます。

2 「一時停止／ジョグ」ボタン、または「再生」ボタンを押して、止めた続きを見る

再生

- 現在見ている映像と、実際の放送との位置関係は、タイムバーで確認できます。「タイムバー」ボタンを押してください。
- すぐには一時停止を解除できない場合があります。

3 お好みで、見たい場面を以下の操作でさがす

早送り／早戻し： ジョグスイッチを上下に動かす
スロー再生： 「スロー（I▶）」ボタンを押す
コマ送り： 「一時停止／ジョグ」ボタンを押してから、ジョグダイヤルを右方向に回す

- 普通の速さの再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。
- 早送りできるのは、実際の放送の数十秒前までです。現在の放送を見るには、「タイムスリップ」ボタンを押してTVお好み再生を解除してください。

4 「タイムスリップ」ボタンを押して、タイムスリップモードを終了する

内蔵HDDへの記録が止まります。
書き込んだ内容を保存するか消去するかを確認するメッセージが表示されます。
方向キー（◀/▶）で「はい」「いいえ」を選び、「ENTER」ボタンを押します。

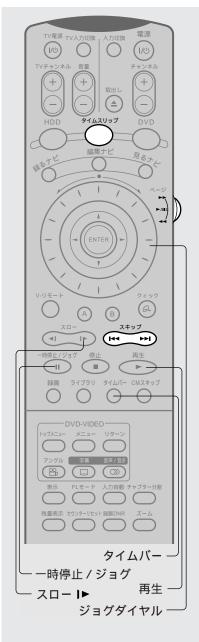
お知らせ

- TVお好み再生は、本機で録画をしているときはできません。
- TVお好み再生中は、戻し方向のスロー再生とコマ戻しはできません。
- TVお好み再生は内蔵HDDに空き容量がなくなると停止します。空き容量が全くない場合は動作しません。
- TVお好み再生中は、録画予約転送および簡易予約はできません。

HDD

録画中に録画済みの部分を見る（追っかけ再生）

録画しながら、同じ番組の録画済みの部分に戻って再生することができます。録画の終了まで待たずに見られるので、特に長時間の番組などに便利な機能です。

1 内蔵HDDへの録画中に、「タイムスリップ」ボタンを押す

タイムスリップ

現在録画している番組が再生状態になります。

2 ジョグスイッチや「スキップ」ボタンで、番組の先頭まで戻る

先頭まで戻ると、自動的に再生がはじまります。

- 現在見ている場面と、実際の放送との位置関係は、タイムバーで確認できます。「タイムバー」ボタンを押してください。

3 お好みで、見たい場面を以下の操作でさがす

早送り／早戻し： ジョグスイッチを上下に動かす
スロー再生： 「スロー（I▶）」ボタンを押す
コマ送り： 「一時停止／ジョグ」ボタンを押してから、ジョグダイヤルを右方向に回す

- 普通の速さの再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。
- 早送りできるのは、録画している実際の放送の数十秒前までです。

4 「タイムスリップ」ボタンを押して、タイムスリップモードを終了する

画面が放送中の映像に戻ります。

お知らせ

- 追っかけ再生中は、戻し方向のスロー再生とコマ戻しはできません。
- 追っかけ再生は、DVD-RAMディスクへの録画ではできません。
- 追っかけ再生は、内蔵HDDに空き容量がなくなると停止します。空き容量が全くない場合は動作しません。
- 録画開始直後は、追っかけ再生はできません。
- 追っかけ再生で実際の放送位置に追いついたとき、見ている映像には実際の放送より数秒の遅れが生じています。
- 追っかけ再生中は、録画予約転送および簡易予約はできません。

DVD VIDEO　VCD　CD

好きな順番で再生する（メモリ再生）

再生中のディスクから選んだ30個までのタイトル、チャプター、トラックを、そのつど好きな順に並べて再生できます。
（内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクの記録内容を好きな順番で再生する場合は、プレイリストを作成します。くわしくは「編集」の章をご覧ください。）

クリア
B

1 停止中または再生中に、「クイック」ボタンを押す

クイック

次のような表示（「クイックメニュー」）が出ます。
（ディスクによって内容は異なります。）

例

クイックメニュー
- メモリ
- メモリリスト
- リピート再生
- ランダム再生
- ビットレート
- 3D(N-2-2)
- 戻る

2 方向キー（▲/▼）で「メモリリスト」を選び、「ENTER」ボタンを押す

表示が次のように変わります。

01 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	11 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	21 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
02 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	12 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	22 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
03 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	13 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	23 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
04 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	14 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	24 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
05 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	15 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	25 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
06 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	16 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	26 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
07 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	17 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	27 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
08 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	18 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	28 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
09 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	19 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	29 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ
10 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	20 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ	30 ﾀｲﾄﾙ ﾁｬﾌﾟﾀｰ

3 タイトル、チャプター、トラックの番号を、再生したい順に番号ボタンで入力する

1 2 3
4 5 6
7 8 9 0

番号は3ケタで入力します。
番号が１ケタや2ケタの場合は、はじめに「0」を入力します。（例「0」「0」「3」）

- 入力を間違えたときは、「クリア」ボタンを押して、入力し直してください。
- チャプター番号を入力するときは、方向キー（◀/▶）でカーソルの位置を変えます。

4 方向キー(▲/▼)で、次の欄を選び、手順3を行う

同じタイトル内のチャプターを続けて設定するときは、タイトル番号を入力する必要はありません。

必要なだけ、この手順をくり返します。
30個まで入力できます。

5 「ENTER」ボタンを押す

メモリ再生がはじまります。

お知らせ

- ディスクによってはメモリ再生ができないものがあります。
- メモリ再生をくり返すこともできます。メモリ再生中に「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示させてから、「メモリリピート」を選択後、「ENTER」ボタンを押します。
- ディスクにないタイトル番号、チャプター番号、トラック番号は入力しても再生されません。
- 本体の電源を切ったときは、設定したメモリの内容が消去されます。
- メモリ画面、メモリリスト画面の表示は「B」ボタンを押すと消えます。

■ 設定が終わった内容を修正するには

「メモリリスト」の表示中に、方向キー(▲/▼/◀/▶)で、修正する欄を選び、番号ボタンで入力し直す

■ 設定が終わった内容を取り消すには

「メモリリスト」の表示中に、方向キー(▲/▼)で、取り消す欄を選び、「クリア」ボタンを押す

■ 普通の再生に戻すには

1)「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示させる

2) 方向キー(▲/▼)で「メモリ解除」を選び、「ENTER」ボタンを押す

■ 再生中にメモリ再生の設定／変更をするには

1) 普通の再生中に、「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示させる

2) 方向キー(▲/▼)で「メモリ」または「メモリリスト」を選び、「ENTER」ボタンを押す

3) 手順3から5を行う

お知らせ

- メモリ再生中には、メモリ内容の設定／変更はできません。
  変更するときは、「停止」ボタンを押して、メモリ再生を解除してから変更してください。

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

くり返し再生する(リピート再生)

再生中のディスクから、再生したい部分だけをくり返します。

1 再生中に、「クイック」ボタンを押す

次のような表示(「クイックメニュー」)が出ます。
(ディスクによって内容は異なります。)

例

2 方向キー(▲/▼)で「リピート再生」を選び、「ENTER」ボタンを押す

さらにメニューが表示されます。

例

3 方向キー(▲/▼)で、リピート再生の種類を選ぶ

ディスクによって、以下の種類が選べます。

A-Bリピート:
再生中のチャプター(またはトラック)のうち、指定した範囲だけをくり返します。
45ページの手順を行ってください。

タイトルリピート:
再生中のタイトルをくり返します。

チャプターリピート:
再生中のチャプターをくり返します。

トラックリピート：
再生中のトラックをくり返します。

ディスクリピート：
再生中のディスク全体をくり返します。

全タイトルORGリピート：
再生中のディスクのタイトル（オリジナル）全部をくり返します。

全タイトルPLリピート：
再生中のディスクのタイトル（プレイリスト）全部をくり返します。

4 「ENTER」ボタンを押す

くり返し再生がはじまります。

お知らせ

- ディスクによってはリピート再生ができないものがあります。
- 手順を途中でやめるときは、「クイック」ボタンを押すか、「クイックメニュー」の「戻る」を選んで「ENTER」ボタンを押します。
- ランダム再生中は、リピート再生はできません。

■ 範囲を指定してくり返すには

1）手順3で「A-Bリピート」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「A点設定」の表示が出ます。

2）くり返したい範囲の始点になったら「ENTER」ボタンを押す

ボタンを押したところがA点（始点）として記憶されます。

表示が「B点設定」に変わります。

3）くり返したい範囲の終点になったら「ENTER」ボタンを押す

ボタンを押したところがB点（終点）として記憶され、A点とB点の間のくり返し再生がはじまります。

■ 普通の再生に戻すには

1）リピート再生中に、「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示させる

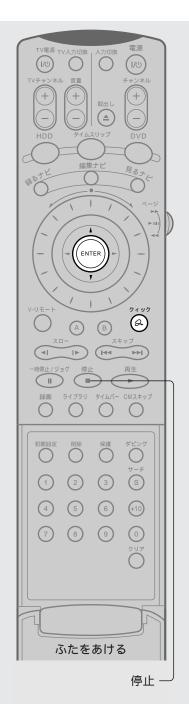
2）「リピート解除」を選び、「ENTER」ボタンを押す

お知らせ

- リピート再生中に「停止」ボタンを押すと、リピート再生は解除されます。

DVD VIDEO VCD CD

順不同に再生する（ランダム再生）

再生中のディスクを、いろいろな単位で順不同に再生します。

1 再生中に、「クイック」ボタンを押す

次のような表示（「クイックメニュー」）が出ます。
（ディスクによって内容は異なります。）

例

2 方向キー（▲/▼）で、「ランダム再生」を選び、「ENTER」ボタンを押す

さらにメニューが表示されます。

例

3 方向キー（▲/▼）で、ランダム再生の種類を選ぶ

ディスクによって、以下の種類が選べます。

タイトルランダム：
再生中のディスクの全タイトルを、順不同に再生します。

チャプターランダム：
再生中のタイトル内の全チャプターを、順不同に再生します。

トラックランダム：
再生中のディスクの全トラックを、順不同に再生します。

4 「ENTER」ボタンを押す

ランダム再生がはじまります。

お知らせ

- ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
- メモリー再生中はランダム再生はできません。
- リピート再生中はランダム再生はできません。
- 手順を途中でやめるときは、「クイック」ボタンを押すか、「クイックメニュー」の「戻る」を選んで「ENTER」ボタンを押します。

■ 普通の再生に戻すには

1) ランダム再生中に、「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示させる

2) 方向キー(▲/▼)で「ランダム解除」を選び、「ENTER」ボタンを押す

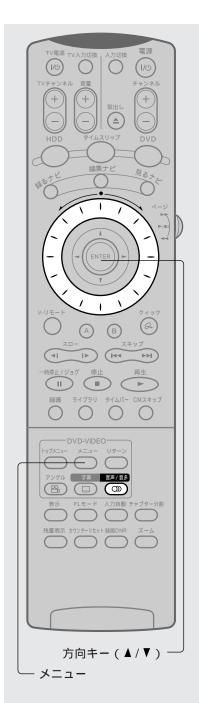
お知らせ

- ランダム再生中に「停止」ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

はじめに
再生(基本編)
再生(応用編)
録画(基本編)
録画(応用編)
編集
機能設定
その他

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

音声の切り換え

複数の音声が記録されているディスクでは、好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

1 再生中または放送受信中に、「音声/音多」ボタンを押す

現在の音声設定が表示されます。

言語名がコードで表示される場合があります。
言語コード表（118）と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、ジョグダイヤルを回して、好きな音声を選ぶ

ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わり方が異なります。

- HDD DVD RAM 、およびテレビ放送受信中

  ステレオ音声の番組
  「ステレオ」(左の(主)音声と右の(副)音声)→「ステレオL」(左の(主)音声)→「ステレオR」(右の(副)音声)(→「ステレオ」に戻る)

  二重音声の番組
  「主」(主音声)→「副」(副音声)→「主＋副」(主音声＋副音声)(→「主」に戻る)

  WOWOW(BS5)(WOWOW受信中のみ)
  「主」(主音声)→「副」(副音声)→「主＋副」(主音声＋副音声)(→「主」に戻る)

- DVD VIDEO

  ディスクに記録されている音声の、言語・音声方式・出力チャンネル数

  例

音声	1 日本語 2ch
出力	PCM

- VCD

  「ステレオ」→「ステレオL」→「ステレオR」(→「ステレオ」に戻る)

音声設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

方向キー(▲/▼)で「出力」を選ぶと、ジョグダイヤルで音声出力方式（111）の切り換えができます。

お知らせ

- DVDビデオディスクを使用しているとき、ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定（109）の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

■ 出力される音声の種類

ディスク	音声方式		機能設定画面での「音声出力設定」106 111 と出力端子					
			「ビットストリーム」		「アナログ 2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	—	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	—	—
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	HDCD		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/20 bit
	DTS		ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）
内蔵HDD	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM 48 kHz/16 bit		48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
DVD-RAMディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM 48 kHz/16 bit		48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit

（網掛け）：3D再生（112）可能

DVD VIDEO

アングルを変えて見る

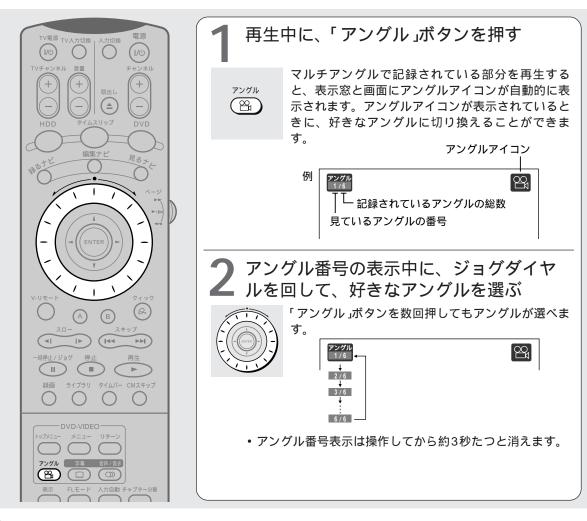
複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、画像を好きなアングルに切り換えられます。

1 再生中に、「アングル」ボタンを押す

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。アングルアイコンが表示されているときに、好きなアングルに切り換えることができます。

2 アングル番号の表示中に、ジョグダイヤルを回して、好きなアングルを選ぶ

「アングル」ボタンを数回押してもアングルが選べます。

- アングル番号表示は操作してから約3秒たつと消えます。

お知らせ

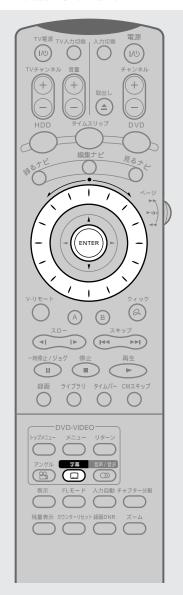
- 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生を始めてからアングルが切り換わります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
- ディスクによっては、アングル番号が切り換わっても映像は切り換わらない場合があります。

■ テレビ画面にアングルアイコンを表示させなくするには

初期設定で「画面表示」を「切」に設定します。113
アングルを切り換えたいときは、本体表示窓のアングルアイコンの点滅中に切り換えます。

HDD DVD RAM DVD VIDEO

字幕の表示と切り換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。
複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、好きな字幕に切り換えられます。

1 再生中に、「字幕」ボタンを押す

現在の字幕設定を表示します。

例

字幕 1 - -
状態 切
設定番号および言語

言語名表示は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（118）と照らし合わせてください。

2 方向キー（▼）で、「状態」にカーソルを置き、ジョグダイヤルを回して「入」を選ぶ

すでに「入」が表示されているときはこの手順は不要です。手順3に進んでください。

3 方向キー（▲）で、「字幕」にカーソルを置き、ジョグダイヤルを回して、好きな字幕言語を選ぶ

表示されない字幕言語はディスクに記録されていません。

- 字幕設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

お知らせ

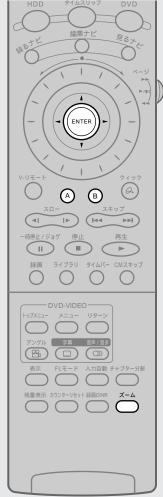
- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
- 再生している場所によっては、「入」を選んでも、すぐには字幕が表示されないことがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切り換えを、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

■ 字幕を非表示にするには

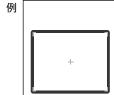
上の手順2で、ジョグダイヤルを回して「切」を表示させる

DVD VIDEO

拡大して見る（ズーム再生）

画面を拡大できます。

1 再生中、スローモーション再生中または一時停止中に、「ズーム」ボタンを押す

画面にズームガイドが表示されます。

例

2 ズームする倍率と場所を選ぶ

- **「A」ボタン**：
  ズームする倍率が上がります。
- **「B」ボタン**：
  ズームする倍率が下がります。

- **方向キー**：
  ズームする場所が移動します。

- **「クリア」ボタン**：
  ズームする部分が画面の中央に戻ります。

お知らせ

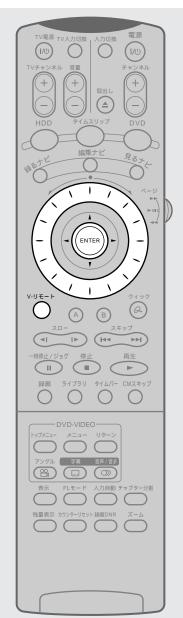
- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- 字幕やメニューの選択表示（マーク）などの副映像部分や画面表示部分は拡大されません。
- ズーム再生中は、ディスクに記録されているメニューの選択ができません。ディスクに記録されているメニューを使うときは、ズーム再生を解除してください。
- 「TV画面形状」（110）の設定によって倍率は異なります。

■ 普通の再生に戻すには

「ズーム」ボタンを押す

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

バーチャルリモコンを使う（V-リモート）

画面上でリモコン操作ができます。（ボタンを何種類も使い分けることなく、方向キーだけで再生のおもな操作ができます。）

1 再生中に、「V-リモート」ボタンを押す

リモコンのアイコン（V-リモート(バーチャルリモコン)）が表示されます。

例

映像や音声の種類を選べます。手順2のBへ。

再生の速さと方向を選べます。手順2のAへ。

2 A 方向キー（▲/▼/◀/▶）で、再生の速さと方向を選び、「ENTER」ボタンを押す

- ❚❚ ：一時停止と解除
- ▶ ：ふつうの再生
- ❚▶ ：スロー再生
- ▶▶❚ ：進む方向のスキップ
- ▶▶ ：早送り
- ◀❚ ：戻る方向のスロー再生
- ◀◀ ：早戻し
- ❚◀◀ ：戻る方向のスキップ
- ■ ：再生の停止

B 方向キー（▲/▼）で「音声」、「音声出力」、「字幕」または「アングル」を選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだ項目の設定状態が表示されます。
ジョグダイヤルを回して設定し、「ENTER」ボタンを押してください。
項目の詳細はそれぞれ □ のページをご覧ください。

音声： 48 ページ

音声出力： 111 ページ

字幕： 51 ページ

アングル： 50 ページ

お知らせ

- ディスクによっては機能しないことがあります。

■ バーチャルリモコンを消すには

「V-リモート」ボタンを押す

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

動作の状態を画面で確認する

現在どの部分をどのような設定条件で操作しているかなどを、画面に表示させて確認できます。

状態表示と設定状況表示

1 「表示」ボタンを押す

表示

以下のような表示が出ます。（ディスクによって内容は異なります。）

例：内蔵HDDの再生中

タイトル経過時間／チャプター経過時間
動作モード
タイトル番号／チャプター番号
再生モード
ディスクの種類
受信中のチャンネル
状態表示

例

▶ タイトル 002: 00:10:29 チャプター005: 00:13:15 タイトル リピート HDD 3 ステレオ

2 もう一度「表示」ボタンを押す

表示

操作状況などが表示されます。（ディスクによって内容は異なります。）

例

▶ タイトル 002: 00:10:29 チャプター005: 00:13:15 タイトル リピート HDD 3 ステレオ

3D(N-2-2) :入
録画DNR :弱
画質 :SP
音質 :L-PCM
音声/音多 :1 ステレオ オリジナル
音声出力 :ビットストリーム
字幕 :1 日本語 入

3 さらに「表示」ボタンを押して表示を消す

表示

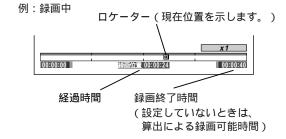
タイムバーを使う

1 再生中または録画中に、「タイムバー」ボタンを押す

タイムバー

タイムバーが表示されます。（ディスクによって内容は異なります。）

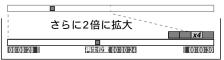
例：再生中

例：録画中

2 「タイムバー」ボタンをくり返し押す

タイムバー

押すごとに以下のように変わります。

1回目：ロケーターのある部分を2倍に拡大します。

2回目：ロケーターのある部分をさらに2倍に拡大します。（最初の表示の4倍）

3回目：タイムバーを消します。

録画（基本編）

録画をしてみましょう。

録画の前に

本機で録画するときに知っておきたい情報です。録画の前にお読みください。

本機は大容量のハードディスクを内蔵しています。従来のビデオデッキでは、録画するにはテープが必要でしたが、本機はこのハードディスクに録画ができますので、テープの出し入れや録画する位置を確認するなどの手間がいらず、すぐに録画がはじめられます。さらにDVD-RAMディスクを入れれば、テープと同様に録画に使用するほか、内蔵HDDに録画した内容を、編集により必要なところだけDVD-RAMディスクにライブラリとして残すことができます。

本機の録画のしかたにはいろいろな種類があります。
用途とお好みに合わせて録画方法をお選びいただけます。

どこに何を録画したかわからなくなってしまった。

どこにいつ何チャンネルを録画したか、などの覚えておきにくい情報は、本機のライブラリ機能が管理しています。情報が一覧表示されるので、録画や再生をしたい箇所が簡単に見つけられます。
→「録画履歴から選んで再生する」34

大事な録画、家族のだれかが勝手に録画して消してしまう。

テープと異なり、上書きで録画をしてしまうことはありません。不要になった内容は、確かめたうえで、消したい箇所だけを選んで消せます。
→「録画内容を削除する」103

大好きなドラマ。ついついあちこちに散らばってしまう。

本機の「予約ディスク機能」が、DVD-RAMディスク1枚にまとめてくれます。録り忘れも、他の番組の混入も防いでくれる便利な機能です。
→「同じ番組の専用ディスクを作る（予約ディスク作成）」67

ディスクの残量が少ない。途中で録画が途切れてしまわないか不安。

大容量の内蔵HDDとDVD-RAMディスクを併用すれば、万が一のときにもDVD-RAMディスクから内蔵HDDに録画をリレーします。（録画可能時間が不足しているときは動作しません。）

録画1回で1タイトルとなります。チャプターに分けることもできます。くわしくは「編集」の章をあわせてお読みください。

お知らせ

- すでに録画されているDVD-RAMディスクに新たに録画する場合、録画済みの分、録画に使用できる空き容量が減り、記録時間が短くなります。

ご注意

- 録画終了後、画面右上に「Loading」のアイコンが表示されます。これは録画終了処理（記録管理情報を記録する）を行なっていることを示すもので、この表示が消えるまで次の操作を受け付けないシステムになっています。
  録画終了処理時間は録画時間によって異なります。
- 本機動作中に、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電があった場合、録画内容がすべて消える場合がありますので注意してください。
- 予約録画の開始時刻約10分前以降に、停電の発生や停電からの復帰があった場合、その予約録画は実行されません。

■ 準備はお済みですか？

テレビ番組を録画する際は、録画したいチャンネルが本機で受信できていることを事前にご確認ください。録画したいチャンネルが本機を通して映らないときは、別冊の「準備編」をもう一度お読みになり、接続や各設定が正しく行われているかお調べください。
また、本機の時計の時刻設定が済んでいないと、あらゆる予約録画ができません。初期設定で時刻設定を済ませてください。

■ ディスク初期化について

内蔵HDDおよびDVD-RAMディスクは、録画／削除をくり返すと、内部に不要なデータが蓄積され、使用できる容量が徐々に減ってきます。ディスクの初期化という処理を行なうと、ディスクが論理的にフォーマットし直され、使用できる容量は最大となります。ただし、初期化を行なうと、それまで記録されていたデータは、すべて消去されますので、使用中のディスクの初期化を行なう場合は、事前に記録内容を確認して、消去されても差し支えないことを確認してください。
新しいDVD-RAMディスクも、本機で録画に使用するには最初にディスクの初期化を行なってください。

初期化のしかた

1）停止中に、「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」を表示する

2）方向キー（▲/▼）で「ディスク初期化」を選び、「ENTER」ボタンを押す

3）初期化するメディアを選び、「ENTER」ボタンを押す

DVD初期化：DVD-RAMディスクを初期化します。

HDD初期化：内蔵HDDを初期化します。

4）「開始」を選び、「ENTER」ボタンを押す

お知らせ

• ディスクは初期化時に、管理のため自動的に番号が割りふられますが、好きな番号（3ケタまで）に変えたり名前をつけることもできます。画面にしたがって、方向キー（▲/▼）でそれぞれの「変更」を選び、「ENTER」ボタンを押してください。ディスク番号はジョグダイヤルと方向キー（▲/▼/◀/▶）で、ディスク名はキーボート画面で入力できます。

■ DVD-RAMディスクに録画するときは

本機で録画できるディスクを確認のうえご用意ください。（5ページ）

ディスクによっては、本機にディスクを入れたときに初期化が必要な場合があり、メッセージが出てお知らせします。画面の指示にしたがって初期化を行なうと、本機で録画や再生ができるようになります。

ご注意

• 本機の録画にはDVD-RAM規格Version2.0に準拠したDVD-RAMディスクだけが使用できます。ただし、規格に準拠している場合でも、複雑な記録がされているDVD-RAMディスクには、記録されているデータを保護する意味で追加の録画ができないことがあります。記録済みのDVD-RAMディスクに録画を追加する場合は、事前に、録画ができるか／残量時間が表示されるかを確認し、それらが問題なくできていれば録画用のディスクとして使用が可能です。重要な録画には、新しいDVD-RAMディスクの使用をお勧めします。

■ ディスクの空き容量を調べる

1）調べたい方のディスクを選び、「画質」と「音質」を、録画しようとする値に設定する

2）「残量表示」ボタンを押す

画面と本体の表示窓に、ディスクの空き容量が表示されます。

3）残量を確認したら、もう一度「残量表示」ボタンを押して表示を消す

■ 「HDDに空きがないので …」と表示されたときは

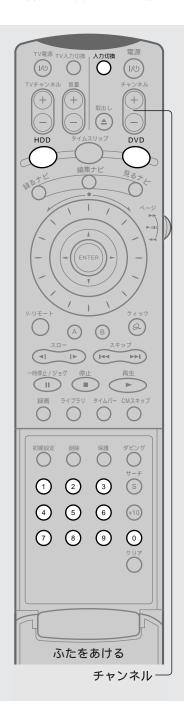
内蔵HDDが記録内容でいっぱいです。不要なタイトルを削除したり、必要な記録内容をDVD-RAMディスクに移動したりすると、その分新たな録画が可能になります。

■ 録画予約時刻が重なったときは

前の録画が終わらなくても、次の予約の開始時刻になると次の録画が始まります。
ただし、次の録画開始時間の2分前に先の録画が終了します。

HDD DVD RAM

テレビ番組を録画する

テレビ番組の録画のしかたを説明します。DVD-RAMディスクまたは内蔵HDDに録画します。

1 テレビやオーディオシステムなど、接続機器の電源を入れ、本機をつないでいる入力に切り換える

テレビの操作に本機のリモコンを使うには、別冊「準備編」46の設定をあらかじめ行なってください。

2 3モードボタン(「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタン)を押して、記録先を選ぶ

HDD:内蔵HDDに録画します。
DVD:DVD-RAMディスクに録画します。

3 DVD-RAMディスクに録画するときは、本機にDVD-RAMディスクを入れる(16ページ)

録画可能な残量があるディスクを入れてください。
ディスク残量の確認のしかたは、59ページをご覧ください。
ライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

4 「入力切換」ボタンをくり返し押して、録画する放送を選ぶ

入力切換

ボタンを押すたびに、内容が変わります。

チャンネル: 地上放送を録画(手順5へ)
BS: 衛星放送を録画(手順5へ)
ライン1: 本体背面の入力1の信号を録画(80)
ライン2: 本体前面の入力2の信号を録画(80)
ライン3: 本体背面の入力3の信号を録画(80)デジタルBS/CSチューナーを接続しているときは(85)
ライン4: 本体背面の入力4の信号を録画(80)BSデコーダを接続しているときは(82)

5 番号ボタンで、録画するチャンネルを選ぶ

例：チャンネル6を選ぶ

6

チャンネル12を選ぶ
「1」→「2」（つづけて押す）

1 → 2

「チャンネル」ボタン（＋/－）でも選べます。

6 「画質」ボタンをくり返し押して、画質モードを選ぶ

画質

SP：
標準の画質モードです。
DVD-RAM4.7GBの未使用ディスクに約2時間記録できる画質です。
内蔵HDDには約13時間記録できる画質です。

LP：
長時間の画質モードです。
DVD-RAM4.7GBの未使用ディスクに約4時間記録できる画質です。
内蔵HDDには約27時間記録できる画質です。

マニュアル（MN）：
マニュアルの画質モードです。
2.0Mbps～9.2Mbpsの範囲で、0.2Mbps単位に設定できます。常に一定の画質で録画したい場合に設定します。
初期設定の「マニュアル画質レート」（115ページ）の設定した画質になります。
このビットレート（Mbps）の数字が大きければ大きいほど、高画質で録画できますが、録画できる時間が短くなります。

音質の設定により、選択できない画質モードがあります。

テレビ番組を録画する（つづき）

7 「音質」ボタンをくり返し押して、音質モードを選ぶ

音質

DD1： 標準の音質
DD2：「**DD1**」よりもよい音質
L-PCM：最もよい音質

録画する音質を上げるほど、録画可能時間は短くなります。

- 「L-PCM」が選べるのは、画質設定が「マニュアル（MN）」のときに限ります。

8 「録画」ボタンを押す

録画

録画がはじまります。

お知らせ

- 録画中は、チャンネルや画質モードなどの変更はできません。
- 録画できる最大のタイトル数は、DVD-RAMディスクは99、内蔵HDDは198です。
- 録画できる時間は1回の録画につき最長9時間です。これを超えると録画が自動的に停止します。
- 録画中には、録画予約はできません。
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- 「DD2」または「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送やモノラル放送を記録したときは、ステレオ音声として記録されます。
  音声多重放送だったときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力しますので、「音声／音多」ボタンで出力する音声を選んでください。
  モノラル音声だったときは、左チャンネルと右チャンネル両方に同じ音声が記録されます。「DD1」モードでは、そのまま記録できます。

■ 録画を終了する

「停止」ボタンを押す

■ 録画を一時停止する（不要な場面をカットする）

録画中に、「一時停止／ジョグ」ボタンを押す

「一時停止／ジョグ」ボタンをもう一度押すと、録画がはじまります。

お知らせ

• 録画中に一時停止することで、自動的にチャプターの境界ができます。

■ 録画チャンネルを変える

1）録画中に、「一時停止／ジョグ」ボタンを押す

録画が一時停止します。

2）「チャンネル」ボタンで録画チャンネルを変える

3）「一時停止／ジョグ」ボタンを押して、録画を再開する

■ 録画しながら別の番組を見る（録画中に裏番組を見る）

1）録画をはじめる

60〉ページの手順1～8を行ないます。

2）テレビの入力切換を「テレビ」にする

3）テレビ側のチャンネルボタンで、見たい番組を選ぶ

■ 録画時のノイズを低減する機能を使う（録画DNR）

録画の前に、「録画DNR」ボタンを押す

押すたびに効果のレベルが切り換わります。
内容の詳細は116〉ページをご覧ください。

■ 録画と再生を同時に行なう

●再生中に、もう一方のディスクに録画するには

一度再生を止めてから、再生していない方のディスクを「DVD」ボタンまたは「HDD」ボタンで選び、録画の操作を行なってください。

●録画中に、もう一方のディスクを再生するには

録画していない方のディスクを「DVD」ボタンまたは「HDD」ボタンで選び、再生の操作を行なってください。

HDD DVD RAM

録画予約する（録るナビ）

録画予約は「録るナビ」画面をお勧めします。残量計算や録画に必要な情報が簡単に集められるので、準備に手間がかかりません。先週のドラマの続きなど、前と同じ条件で予約するときにも役立ちます。

1 停止中に、「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

例

2 「ENTER」ボタンを押す

データを入力できる状態になります。

例

3 方向キー（◀/▶）で設定する項目を選び、ジョグダイヤルでデータを入力する

例

- 設定する内容は、次ページをご覧ください。
- データの入力は、方向キー（▲/▼）でもできます。

4 設定が終わったら、「ENTER」ボタンを押す

続けて他の録画予約をするときは、方向キー（▶）で次の行の先頭に移動したあと、手順2～4をくり返してください。

5 「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

録画予約が設定されました。

- 電源を切る場合は、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。

■ 設定項目

CH	1～64ポジション、BS1～BS15、L1～L4	録画したい番組のチャンネルを設定します。 （スキップ設定したチャンネルは表示されません。）
日付	今日から2ヶ月先(62日)の日付まで、毎日曜日～毎土曜日、月－木曜日、月－金曜日、月－土曜日、毎日	録画したい番組の日付を設定します。
開始		録画の開始時刻です。（現在時刻の5分後以降が設定可能で、初期値として10分後の時刻が表示されます。）
終了		録画の終了時刻です。
記録先	DVD	DVD-RAMディスクに録画したいとき。
	HDD	内蔵HDDに録画したいとき。
	AB面	AB面リレー録画（72ページ）をするとき。
モード（画質）	SP	録画時間、画質とも標準の設定です。（音質設定の「L-PCM」を選ぶと、設定できません。）
	LP	長時間録画したいとき。ただし、画質は落ちます。（音質設定の「L-PCM」を選ぶと、設定できません。）
	マニュアル	レート（ビットレート）の任意の設定ができます。
	ジャスト	記録直前のディスクの空き容量に合わせて自動的に画質レートを設定します。 （ディスクの空き容量が足りない場合は、番組の最後まで記録できません。） 内蔵HDDに記録すると、DVD-RAM4.7GBの未使用ディスクにダビングできる時間分を記録します。
レート（ビットレート）	2.0～9.2	録画モードが「SP」、「LP」、「ジャスト」では指定できません。2.0～9.2の範囲で0.2Mbpsずつ任意に指定できます。（音質の設定値によって、設定できる上限値が変わります。）
音　質	DD1	標準の音質です。
	DD2	DD1よりも良い音質です。
	L-PCM	最も良い音質ですが、録画時間は少なくなります。

■ 予約録画実行中に録画を中止するには

本体の「■（停止）」ボタンを押すと、画面にメッセージが表示されますので、メッセージの表示中にもう一度「■」ボタンを押します。

■ 録画予約を追加する

1）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2）方向キー（▼）で、何も入力されていない行にカーソルを合わせ、「ENTER」ボタンを押す

3）方向キー（◀/▶）で、設定する項目を選び、ジョグダイヤルでデータを入力する

4）設定が終わったら、「ENTER」ボタンを押す

5）「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

■ 録画予約を削除する

1）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2）方向キー（▲/▼）で、削除したい予約データを選ぶ

3）「クイック」ボタンを押す

クイックメニュー画面が表示されます。

4）方向キー（▲/▼）で「予約キャンセル」を選び、「ENTER」ボタンを押す

メッセージを確認して、予約データを削除します。

5）「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

■ 予約内容を変更する

1）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2）方向キー（▲/▼）で、修正したい録画予約を選び、「ENTER」ボタンを押す

3）方向キー（◀/▶）で、修正する項目を選び、ジョグダイヤルでデータを設定しなおす

4）「ENTER」ボタンを押す

修正データが登録されます。

5）「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

ご注意

- 予約録画開始時刻5分前を過ぎると、予約内容の変更はできません。予約の取り消しだけ可能です。
- 予約録画開始時刻5分前直前の内容変更は、予約録画の実行を妨げる恐れがありますので、十分にご注意ください。

■ 録画の開始時刻／終了時刻をずらす（時刻シフトモード）

予約録画開始前に野球中継などがある場合、野球中継の放送延長等で、番組の終了時刻がくり下がる可能性があるとき、簡単に録画の時間帯をずらせます。

1）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2）方向キー（▲/▼）で、時間帯をずらしたい録画予約を選ぶ

3）リモコンのうら側のふたをあけ、「延長」ボタンを押す

開始時刻と終了時刻が編集モードになります。

4）「延長」ボタンをくり返し押す

押すたびに、10分ずつ最大60分まで後にずらせます。

5）「ENTER」ボタンを押す

6）「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

■ 予約履歴（前と同じ番組を録画予約する）

1）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2）「クイック」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

3）方向キー（▲/▼）で「予約履歴一覧」を選び、「ENTER」ボタンを押す

予約履歴一覧画面が表示されます。

現時刻から新しい9件までを表示します。

4）方向キー（▲/▼）で、録画したい番組の予約履歴を選び、「ENTER」ボタンを押す

録画予約一覧画面に、選んだ予約履歴情報が入力されます。

5）方向キー（◀/▶）で、修正したい項目を選び、ジョグダイヤルで入力する

6）設定が終わったら、「ENTER」ボタンを押す

7）「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

お知らせ

- 予約履歴は256件まで登録されます。256件を超えたときは、古いものから順に消去されます。

■ 残量計算

1）「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2）「クイック」ボタンを押す

クイックメニュー画面が表示されます。

3）方向キー（▲/▼）で「残量計算」を選び、「ENTER」ボタンを押す

残量計算画面が表示されます。

4）方向キー（▲/▼）で予約項目を選び、「ENTER」ボタンを押す、またはジョグダイヤルを回す

行の先頭にチェックマークがついているときだけ、残量計算を行います。残量計算の結果は、ただちに画面下のグラフに表示されます。

チェックマークがついていない場合、ジョグダイヤルを操作し、チェックマークをつけます。

例

✓	CH	日付	開始	終了	記録先	モード	レート	音質	結果
✓	BS2	3/26(月)	AM11:30	PM 0:20	HDD	マニュアル	6.0	D2	○
✓	6	3/27(火)	PM 9:30	PM10:00	DVD	マニュアル	6.0	D2	○
✓	BS1	3/28(水)	PM11:30	PM11:00	HDD	マニュアル	6.0	D2	×
✓	8	3/30(金)	PM 8:30	PM11:30	DVD	マニュアル	6.0	D1	○

録るナビ　残量計算　3/25(日)AM10:25

HDD　DVD　予約一覧の更新

前頁　ENTER 入力モード　延長 時間シフトモード　録る 終了　次頁

選択している予約項目　ディスクの残量

×がついた予約は、この条件では録画が最後までできません。

5）**残量を調整したい場合は、予約データを修正する**
（調整しないときは手順7）へ進んでください）

変更できるのは「記録先」、「モード」、「レート」および「音質」です。

変更したい項目を選んで「ENTER」ボタンを押すと、編集モードになり、ジョグダイヤルを回して変更ができます。

変更後はもう一度「ENTER」ボタンを押して決定します。

6）**方向キー（▲/▼/◀/▶）で「予約一覧を更新」を選び、「ENTER」ボタンを押す**

予約データが更新されます。

7）**「録るナビ」ボタンで画面を終了する**

■ 同じ番組の専用ディスクを作る（予約ディスク作成）

連続ドラマなどを一枚のディスクに録画したいときに便利です。

予約データを書き込んだディスクを「予約ディスク」といいます。予約ディスク一枚につき予約を一件だけ入れられます。
予約ディスクを作成すると、予約ディスクに書き込んだ録画情報に基づく録画は、そのディスクにしか書き込むことができなくなります。また、そのディスクには、予約ディスク上の予約に基づく録画しか記録できなくなります。
たとえば、月曜日夜9時から10時までの連続ドラマ用に予約ディスクを作ると、そのディスクにはそのドラマしか録画できなくなります。また、そのドラマを予約や録画しようとすると、本機がその予約ディスクを使用するように指定してきます。

1）**DVD-RAMディスクを本機に入れる**

2）**「録るナビ」ボタンを押す**

「録るナビ」画面が表示されます。

3）**方向キー（▲/▼）で、録画したい予約データを選ぶ**

「記録先」が「DVD」になっていることを確認してください。

4）**「クイック」ボタンを押す**

「クイックメニュー」が表示されます。

5）**方向キー（▲/▼）で「予約ディスク作成」を選び、「ENTER」ボタンを押す**

予約データが転送されると、「録るナビ」画面上に予約ディスクを示すアイコンが表示されます。

予約ディスクが入っていないときは、その行はグレー表示になります。

● 予約ディスクの情報を削除するには

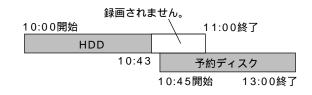
予約ディスクをなくしてしまったときなどには、予約ディスクの情報を削除します。
「クイック」ボタンを押し、「予約ディスク強制削除」を選びます。

● 予約ディスクの録画を中止するには

通常の録画予約同様、「停止」ボタンを2回押すと、画面にメッセージが出ます。

■ 録画予約時刻が重なったときは

前の録画が終わらなくても、次の予約の開始時刻2分前に録画が終了し、そのあと次の予約の開始時刻に録画がはじまります。

例）HDD録画中に予約ディスクの録画時刻がきたら、HDDの録画を停止し、予約ディスクの録画を開始します。

HDD DVD RAM

Gコードで録画予約する

１つ１つの番組についているGコードを入力するだけで、簡単に録画予約ができます。

■ 準備

- **Gコードを使って予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。（準備編 30）ガイドチャンネルが間違っていると、違う番組を録画してしまいます。**
- **DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。**
  - **録画可能な残量があるディスクを入れてください。**
  - **ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。**

1 リモコン裏側のふたを開け、「Gコード」ボタンを押す

Gコード

表示部に設定画面が表示されます。

DR1
Gコード LP DVD
-- --　-- --

2 番号ボタンで、Gコードを入力する

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

例：

DR1
Gコード LP DVD
1234 5678

- Gコードは新聞・雑誌などのテレビ欄でお調べください。
- Gコード入力を間違えたときは、「修正」ボタンを押して数字を消してから、入力し直します。

お知らせ

- 0から始まる番号を入力したときは、9ケタまで数字が入力されます。このときは、末尾の番号が延長時間表示の位置に表示されます。

3 「DVD/HDD」ボタンを押して、記録先を選ぶ

DVD/HDD

DVD：DVD-RAMディスクに録画します。
HDD：内蔵HDDに録画します。

4 必要に応じて、次の設定をする

画質

■画質モードの選択
「画質」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに、「SP」→「MN」→「LP」の順に切り換わります。
「SP」、「MN」、「LP」の内容については61ページをご覧ください。

音質

■音質モードの選択
「音質」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに「LPCM」が点灯／消灯します。
「LPCM」点灯：
リニアPCMで録音します。
音質は上がりますが、録画できる時間は短くなります。
「LPCM」（リニアPCM）設定時は、画質モードの「SP」「LP」には設定できません。必ず「MN」に設定してください。
「MN」モードの画質レートは、初期設定の「マニュアル画質レート」で変更してください。115

毎週／毎日

■毎週／平日／毎日予約
「毎週／毎日」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに表示が変わります。
「毎週」→「月火水木金」→「月火水木金土」→「日月火水木金土」→「表示なし」→（「毎週」に戻る）

毎週：毎週予約
　毎週同じ番組を録画します。
月火水木金：平日予約
　土曜、日曜以外、毎日同じ番組を録画します。
月火水木金土：
　日曜以外、毎日同じ番組を録画します。
日月火水木金土：毎日予約
　毎日同じ番組を録画します。

（つづく）

Gコードで予約録画する(つづき)

5 本体に向けて「転送」ボタンを押す

予約の転送が成功すると、本体のブザーが「ピー」と鳴ります。(失敗時は「ピッピッピッ」と鳴ります。)
本体表示窓に、転送した内容が表示されます。

6 つづけてGコード予約するときは、手順2～5の操作をする

7 予約が終わったら、「Gコード」ボタンを2回押す

リモコン表示部の表示が消えます。

お知らせ

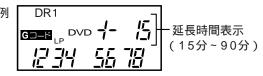
- 同時に予約できるのは最大で32件です。すでに32件予約されているときは、転送エラーとなります。必要のない予約内容を取り消してから予約してください。(65ページ)
- 番組によっては、数分長めに予約されることがあります。
- 次の場合、予約内容が転送されず、エラーになります。
  －実際にない番組を入力したとき
  －ありえない数字を入力したとき
  －ガイドチャンネルの設定がされていないとき
  －日曜の番組に月～土の平日予約をしたとき
  －土曜・日曜の番組に月～金の平日予約をしたとき
  －1週間以上先の番組に毎週・平日・毎日予約をしたとき
  －音質モードが「LPCM」で、画質モードが「SP」、「LP」のとき
- 予約を取り消すには「録るナビ　録画予約一覧」で「クイック」ボタンを押し、クイックメニューで削除します。くわしくは「録画予約を削除する」(65ページ)をご覧ください。
- 「録るナビ」画面表示中には、Gコードを使った録画予約はできません。
- Gコード転送後、「録るナビ」画面で予約内容を確認してください。

G コード予約録画の終了時刻を番組延長分くり下げる

直前に野球中継がある場合など、録画予約する番組の終了時刻がくり下がる可能性があるとき、あらかじめ録画時間を延長しておけます。

1 手順2(68ページ)の後、「G延長」ボタンを押す

ボタンを押すたびに、15分単位で、最大90分まで延長できます。

例

お知らせ

- 予約の転送後は、延長できません。延長したいときは、「録るナビ」画面で予約内容を変更してください。
- Gコードを9ケタの数字を使って入れたときは、延長はできません。
- 延長の場合、録画の開始時刻は変わりません。頭の部分には、前の番組が録画されます。
- 二つの番組を続けて予約しているとき、前の番組を延長しても、次の番組の開始時刻になると次の番組が録画されます。

ＡＢ面リレー録画

ＡＢ面リレー録画は、１枚の両面DVD-RAMディスク(9.4GB)や2枚の片面DVD-RAMディスク(4.7GB)に、１件の予約内容を高画質で録画できる機能です。長時間にわたる内容をよりきれいな画質でDVD-RAMディスクに保存したい場合に便利です。

ＡＢ面リレー録画では、録画内容の前半と後半を、それぞれDVD-RAMディスクと内蔵HDDがリレーして録画します。録画のあと、後半をDVD-RAMディスクにダビングすることで、2つの面それぞれに半分ずつ最大限の高画質で保存したDVD-RAMディスクライブラリができあがります。

お知らせ

- ＡＢ面リレー録画に使用するDVD-RAMディスクは、本機で録画直前に初期化した無録画の12cmの片面4.7GB、または12cmの両面9.4GBをお使いください。8cmのディスクは使用できません。あわせて、内蔵HDD側にもDVD-RAMディスク1枚分の空き容量があることも確認してください。

■ 設定するには

64ページの手順3で、「記録先」に「AB面」を選んでください。（「モード」は自動的に「ジャスト」が設定されます。）

予約設定が完了すると表示管のHDDとDVDの両方に「RESERVE」が表示されます。

■ 録画動作中は

DVD-RAMディスクから内蔵HDDに切り替わる部分の約10分間は、両方のディスクに同じ内容が録画されます。この約10分の部分を、のりしろ部分と呼びます。
のりしろ部分は、前後にチャプター境界が自動的に作られるため、不要な場合、あとで削除することができます。
本機にＤＶＤ-ＲＡＭディスクが入っていなかったり、入れたDVD-RAMディスクにわずかでも録画内容が残っていた場合は、録画のすべてが内蔵HDD側に行なわれます。この場合は、のりしろ部分は作られず、チャプター分割のされていない、1つのタイトルとして録画されます。

ＡＢ面録画では、画質モードはつねに「ジャスト」に設定され、空き容量から自動的に画質レートを算出して録画をします。ただし、画質レートは同じ「ジャスト」でも例えば内蔵HDDに録画した場合とくらべると、ＡＢ面録画では低くなります。これは、ＡＢ面録画では画質レートが録画時間にのりしろ部分の約10分を加算して算出されるためです。したがって、ＤＶＤ-ＲＡＭディスクに録画できずに内蔵ＨＤＤに録画される場合も、算出時にのりしろ部分が加味されているので、画質レートは低くなります。

■ 録画終了後には

内蔵ＨＤＤに録画された後半部分を、ＤＶＤ-ＲＡＭディスクにダビングします。両面ディスクの場合には裏面へ、片面ディスクの場合には準備したもう一枚のディスクへのダビングとなります。ダビングの手順は100ページをご覧ください。
のりしろ部分を削除したい場合は、103ページの手順にしたがって、いずれかののりしろ部分を削除してください。

すべて内蔵HDDに録画されてしまった場合は、まずチャプター生成を行ないます。90ページの手順で、録画されたタイトルの中間点付近の前後4分くらいの範囲に、チャプター境界を1つ作成してください。このチャプターを境目として、前半のチャプターを両面DVD-RAMディスクのＡ面へ（片面ディスクの場合は１枚目）、後半のチャプターは両面ディスクのＢ面へ（片面の場合は2枚目）へダビングしてください。チャプターダビングの手順は、100ページをご覧ください。

録画(応用編)

応用的な録画について説明しています。

- 内容を指定して予約する
- 簡易予約で録画する
- 外部機器から入力して録画する
- WOWOW(BS5)チャンネルを録画する
- CS放送やBS放送を自動的に録画する

HDD DVD RAM

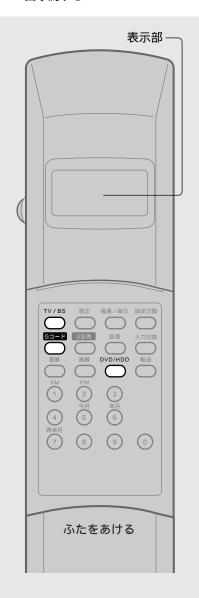
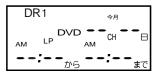
内容を指定して予約する

Gコードがわからない番組など、Gコードを使わず、日付や時刻などを確認しながら入力して録画を予約する方法です。今月、来月、再来月(62日先)までの番組が最大32件まで予約できます。

■ 準備

- **DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。**
  ー録画可能な残量があるディスクを入れてください。
  ーライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

例:来月10日のBS7チャンネルのPM(午後)9時00分から11時00分までの番組を、SPモードで内蔵HDDに録画予約する

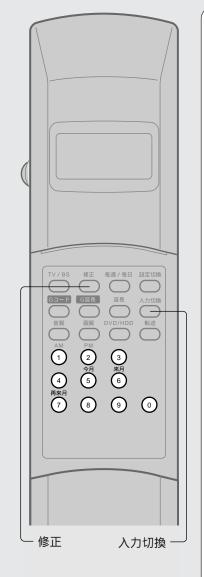
1 リモコン裏側のふたを開け、「Gコード」ボタンを2回押す

表示部に設定画面が表示されます。

2 「DVD/HDD」ボタンを押して、記録先を選ぶ

DVD/HDD

DVD:DVD-RAMディスクに録画します。
HDD:内蔵HDDに録画します。

本例では「HDD」を点灯させせます。

3 「TV/BS」ボタンを押して、地上放送または衛星放送を選ぶ

本例では衛星放送を録画するので、「BS」を表示させます。
地上放送を録画するときは「BS」表示を消します。

4 録画するチャンネルを入力する

本例では、7チャンネルを録画するので、番号ボタンを「0」→「7」の順に押します。

- 1ケタの番号を入力するときは、はじめに「0」を押します。
- 入力を間違えたときは、「修正」ボタンを押して、間違えたところを点滅させてから、入力し直します。
- 外部入力から予約録画するときは、「入力切換」ボタンを押して、「L1」、「L2」、「L3」または「L4」を表示させます。

5 「今月」「来月」または「再来月」ボタンを押して、録画する月を選ぶ

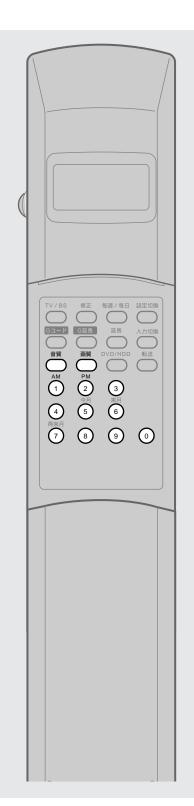
本例では、「来月」ボタンを押して「来月」を点灯させます。

6 録画する日付を2ケタで入力する

本例では、10日を設定するので、番号ボタンを「1」→「0」の順に押します。

1ケタの日付を入力するときは、はじめに「0」を押します。

（つづく）

内容を指定して予約する（つづき）

7 開始時刻を入力する

本例では、PM（午後）9時00分を設定するので、番号ボタンを以下の順に押します。
「2（PM）」→「0」→「9」→「0」→「0」

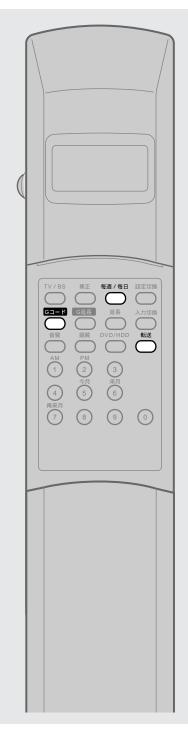
- AM（午前）のときは「1（AM）」を押します。
- 昼の12時は「PM0：00」、夜の12時は「AM0：00」になります。
- 1ケタの時刻のときは、はじめに「0」を押します。

8 終了時刻を入力する

本例では、PM（午後）11時00分を設定するので、番号ボタンを以下の順に押します。
「2（PM）」→「1」→「1」→「0」→「0」

9 必要に応じて、次の設定をする

■画質モードの選択
「画質」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに、「SP」→「MN」→「LP」の順に切り換わります。
画質モードの詳細は 61 ページをご覧ください。

■音質の選択
「音質」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに、「LPCM」が点灯／消灯します。
「LPCM」点灯：リニアPCMで録音します。
音質は上がりますが、録画時間は短くなります。

ご注意

画質が「SP」または「LP」で、音質が「LPCM」という設定の組み合わせでの録画はできません。次の手順を行なったときに画面にメッセージが出ますので、65ページを参照して設定の組み合わせを変えて、再度予約の手順を行なってください。なお待機状態のときは、エラー音が鳴るだけで予約は受け付けられませんので、ご注意ください。

毎週／毎日

■毎週/平日/毎日予約

「毎週/毎日」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに表示が変わります。
「毎週(日〜土)」→「月火水木金」→「月火水木金土」→「日月火水木金土」→「表示なし」→(「毎週」に戻る)

毎週(日〜土)：毎週予約
　毎週同じ曜日に同じ番組を録画します
月火水木金：平日予約
　土曜、日曜以外、毎日同じ番組を録画します。
月火水木金土：
　日曜以外、毎日同じ番組を録画します。
日月火水木金土：毎日予約
　毎日同じ番組を録画します。

10 リモコンを本体に向けて「転送」ボタンを押す

予約の転送が成功すると、本体のブザーが「ピー」と鳴ります。(失敗時は「ピッピッピッ」と鳴ります。)
本体表示窓に、転送した内容が表示されます。

11 つづけて他の番組を予約するときは、手順2〜10の操作をする

12 予約が終わったら、「Gコード」ボタンを1回押す

リモコン表示部の表示が消えます。

お知らせ

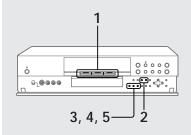
- 「録るナビ」画面表示中には、この章の手順での録画予約はできません。
- 予約を転送したあとは、「録るナビ」画面で内容を確認してください。

HDD DVD RAM

簡易予約で録画する

本体のボタンで簡単に録画予約できます。本体表示窓の表示を見ながら設定してください。

■ 準備

- **DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。**
  －録画可能な残量のあるディスクを入れてください。
  －ディスクのライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 3モードボタン（「HDDボタン」または「DVD」ボタン）で、録画先を選ぶ

HDD：内蔵HDDに録画します。
DVD：DVD-RAMディスクに録画します。

2 「チャンネル（＋/－）」ボタンを押して、録画するチャンネルを選ぶ

3 「開始」ボタンを押して、録画の開始時刻を設定する

「開始」ボタンを押すごとに、30分単位で、現在時刻から24時間以内の開始時刻を設定できます。

4 「終了」ボタンを押して、録画の終了時刻を設定する

「終了」ボタンを押すごとに、30分単位で、最大24時間後まで設定できます。

5 「セット」ボタンを押す

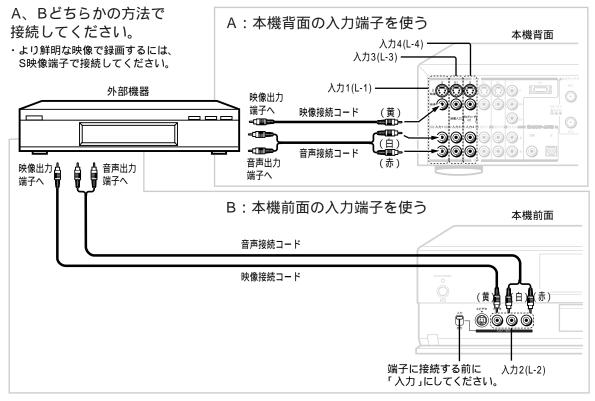
簡易予約は完了しました。

お知らせ

- 今すぐ録画を開始して、終了時刻だけの設定もできます。手順3の開始時刻の設定をとばしてください。
- 手順4の終了時刻の設定をしないときは、ディスクの残量がなくなるまで、または9時間で録画を終了します。
- 「録るナビ」画面表示中には、この章の手順での録画予約はできません。

HDD DVD RAM

外部機器から入力して録画する

本機に外部機器を接続して内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクに録画します。

A、Bどちらかの方法で接続してください。

・より鮮明な映像で録画するには、S映像端子で接続してください。

A：本機背面の入力端子を使う

本機背面

入力4(L-4)
入力3(L-3)
入力1(L-1)

外部機器

映像出力端子へ
映像接続コード
（黄）
（白）
音声接続コード
（赤）
音声出力端子へ

映像出力端子へ
音声出力端子へ

B：本機前面の入力端子を使う

本機前面

音声接続コード
映像接続コード
（黄）（白）（赤）

端子に接続する前に「**入力**」にしてください。
入力2(L-2)

■ 準備

- **DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。**
  －録画可能な残量のあるディスクを入れてください。
  －ディスクのライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 「入力切換」ボタンをくり返し押して、本体表示窓に「L-1」、「L-2」、「L-3」、「L-4」を表示させる

押すごとに表示が切り換わります。

L-1：背面の入力1端子に接続された外部機器からの画像を録画します。

L-2：前面の入力2端子に接続された外部機器からの画像を録画します。

L-3：背面の入力3端子に接続された外部機器からの画像を録画します。

L-4：背面の入力4端子に接続された外部機器からの画像を録画します。初期設定の「入力4設定」を「ライン」に設定してください。116

2 3モードボタン(「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタン)を押して、記録先を選ぶ

HDD： 内蔵HDDに録画します。
DVD： DVD-RAMディスクに録画します。

3 外部機器を再生状態にする

4 本機の「録画」ボタンを押して、録画をはじめる

5 外部機器からの録画が終わったら、「停止」ボタンを押す

お知らせ

- DVDオーディオやSACDの再生機を外部入力に接続しても、本機は従来の音楽用CDの音声帯域にしか対応できません。したがって、本機から出力される音声や記録される音声は、音楽用CDより高い帯域の音声はカットされてしまいます。接続する機器の説明書もご覧ください。

HDD DVD RAM

WOWOW（BS5）チャンネルを録画する

衛星放送のWOWOWを受信するには、JSB（日本衛星放送株式会社）と受信契約を結び、BSデコーダを接続する必要があります。

■ 準備

- 別冊「準備編」の「BSデコーダとの接続」（24ページ）をご覧になり、BSデコーダを接続してください。
- 別冊「準備編」の「初期設定をする（BSチャンネル設定）」（36ページ）を行ってください。

St.GIGA：BS5チャンネルで放送されている独立音声の音楽放送です。St.GIGA（衛星デジタル音楽放送（株））との受信契約を結び、BSデコーダを接続する必要があります。

1 BSデコーダの電源を入れる

2 本機の「入力切換」ボタンでBS放送を選び、「チャンネル」ボタンでWOWOW（BS5チャンネル）を選ぶ

3 本機の「録画」ボタンを押す

録画がはじまります。

4 「停止」ボタンを押して、録画を終了する

お知らせ

- WOWOWの画面に切り換わったときに、約1〜2秒間、画面が乱れることがあります。
- BS内蔵テレビと本機を接続しているときは、本機でNHKの衛星放送を録画しながらテレビでWOWOWを見ることができます。
  1）本機でNHK（衛星第1か衛星第2）を録画します。
  2）BSデコーダの電源を入れます。
  3）テレビでWOWOWを選びます。
  4）テレビの入力を、BSデコーダを接続した入力にします。

■ WOWOW（BS5チャンネル）を予約録画するには

1）BSデコーダの電源を入れたままにする

2）「録画予約する（録るナビ）」（64ページ）または「内容を指定して予約する」（74ページ）の手順を行なう

チャンネル入力でBS5チャンネルを設定してください。

お知らせ

• 本機の録画は、はじまるまでに多少の時間を要します。したがって、前の予約番組の後ろの部分や予約時刻直後の頭の部分が録画されないことがあります。

St.GIGA（セントギガ）を録音する

1 本機の「入力切換」ボタンでBS放送を選び、「チャンネル」ボタンでWOWOW（BS5チャンネル）を選ぶ

2 BSデコーダ側の音声選択ボタンで、「独立」にする

3 本機の「録画」ボタンを押す

録画

録音が始まります。

お知らせ

• 録音が終わったら、BSデコーダの「独立」をもとに戻してください。

■ St.GIGA(セントギガ)を予約録音するには

1) BSデコーダの電源を入れたままにする

2) BSデコーダ側の音声選択ボタンで、「独立」にする

3)「録画予約する(録るナビ)」(64ページ)または「内容を指定して予約する」(74ページ)の手順を行なう

チャンネル入力でBS5チャンネルを設定してください。

お知らせ
- 録音が終わったら、BSデコーダの「独立」をもとに戻してください。

■ 衛星放送の音声について

衛星放送の音声にはAモードとBモードがあり、Aモードではテレビ音声と独立音声の2系統の音声があります。Bモードでは、1系統だけ送られますが、Aモードにくらべ、より高品位の音声が放送されています。

衛星放送	音声の種類	音質
Aモード放送	テレビ音声	FM放送同等
	独立音声	
Bモード放送	テレビ音声	CD同等

Bモード放送を受信すると、「B-MODE」が表示されます。

HDD DVD RAM

CS放送やBS放送を自動的に録画する

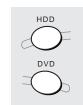
番組予約機能のあるデジタルCS／デジタルBSチューナー（別売）等を組み合わせて使うとき、録画予約の設定が簡単にできます。

■ 準備

- 準備編25ページの接続を行なってください。
- DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。
  - －録画可能な残量のあるディスクを入れてください。
  - －ディスクのライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 デジタルCS／デジタルBSチューナーの番組予約を設定する

接続するチューナーの取扱説明書もお読みください。

2 3モードボタン（「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタンで、記録先を選ぶ

HDD：内蔵HDDに録画します。
DVD：DVD-RAMディスクに録画します。

3 「入力自動」ボタンを押す

- 入力自動録画モードになります。
  本体表示窓に「L-AUTO」が表示されます。
- チューナーの電源が入ると本機も自動的に電源が入り、録画を開始します。チューナーの電源が切れると、本機の録画も停止します。

■ 入力自動録画モードを解除するには

「入力自動」ボタンをもう1度押す

（つづく）

■ 入力自動録画と通常予約の予約時刻が重なっているとき

- 上記のように、予約内容が重なったまま予約録画すると、通常の録画予約が優先して働きます。
- 通常の予約録画中に入力自動録画が予約されているとき、「入力自動」ボタンを押すと入力自動録画モードが解除されます。

お知らせ

- デジタル衛星放送を見るときは、リモコンの「入力切換」ボタンで「L３」を選んでください。
- 録画防止機能（コピーガード）がかかっている番組は録画できません。詳しくは、デジタルCS／デジタルBSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は電源を入れてから録画できる状態になるまでに時間がかかります。したがってCS／BSチューナーの種類によっては、録画開始時間になっても、番組冒頭が録画できない場合もあります。このような場合には、入力自動録画は使わないでください。
  CS／BSチューナー側の予約と合わせて、本機の「録るナビ」で録画予約をしてください。
- 入力自動録画モードの時に、デジタルCS／デジタルBSチューナーの電源を入れると、録画を始めてしまいます。
  デジタルCS／デジタルBSチューナーの番組予約を変更・追加するときは本機の入力自動録画モードを解除してから行ってください。

編　集

大事な録画はDVD-RAMディスクに保存しましょう。好きな場面だけを集めたオリジナルアルバム作りも簡単にできます。

編集の前に

このページの説明は、録画した内容を編集するために必要な情報です。録画をしたあとはぜひお読みください。

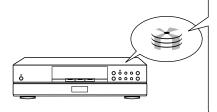
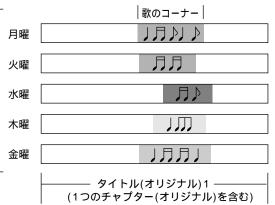
■ 本機の編集機能でできること

- **録画した数々の番組から、必要な場面だけを抜き出したり、好きな順序に並べかえたりして、新しいタイトルにまとめることができます。DVD-RAMディスクに保存すれば、自分だけのライブラリ作りが楽しめます。（「チャプターを作る」90〉／「好きな場面を集める（プレイリスト編集）」96〉）**
- **内蔵HDDとDVD-RAMディスクの間でダビングができます。（「ダビング（コピー／移動）する」100〉）**
- **不要な録画内容を消去します。（「録画内容を削除する」103〉）**

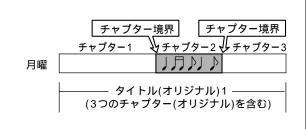
編集は、タイトルとチャプターを単位にして行ないます。タイトルとチャプターは、本機の内部で「プレイリスト」と「オリジナル」という2つの種類に分けて管理されています。編集の際には、この2つの種類の区別を理解しておく必要があります。
以下の例で、「プレイリスト」と「オリジナル」について説明します。

例：月曜から金曜まで毎日録画している英会話講座から、歌のコーナーだけを集めて自分専用の練習曲集を作ります。

● 録画１回で１つのタイトルができます。

上の例では、講座を月曜から金曜の5回分録画したので、5つのタイトルができています。

このように、ご自分で**録画した内容**を、**「タイトル（オリジナル）」**と呼びます。
タイトル（オリジナル）に含まれるチャプターはすべて、チャプター（オリジナル）です。

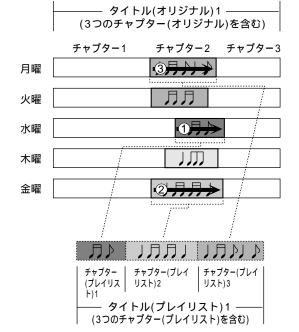
● それぞれのタイトル（オリジナル）の中で、必要な範囲（歌のコーナー）を指定します。

範囲を指定するにはチャプターを作ります。
歌のコーナーのはじまる部分と終わる部分にチャプター境界を作ることで、歌のコーナーが1つのチャプターになります。
１つのタイトル（オリジナル）の中に、３つのチャプター（オリジナル）ができました。

● 歌のコーナーのチャプターだけを集めます。

曲目や曲順を自由に選べます。また一つのタイトルとして名前をつけておくことができます。

集めるそれぞれの要素を「パーツ(=部品)」といいます。右の例では、水曜、金曜、月曜の3つの歌が「パーツ」です。
パーツを集めるとき、もとになるチャプター(オリジナル)はそのままタイトル(オリジナル)の中に残っています。

それぞれのパーツは、もとのチャプター(オリジナル)を複製して新たに作られるわけではありません。実際の録画内容は持たず、再生する項目と順番、といった情報だけの形で存在します。(右の例では、「月曜、水曜、金曜」という曲目と「水曜→金曜→月曜」という曲順)
実際の再生時には、もとのチャプター(オリジナル)の内容が使われます。

パーツは、オリジナルから何度でも作成でき、また同じパーツでも組み合わせや順序を変えて、別のタイトルを作れます。
パーツには、例で示したチャプター(オリジナル)だけでなく、タイトル(オリジナル)や他のプレイリストも使えます。

実際の録画内容であるタイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)を再生時に使う一方で、パーツという別の単位を併用して管理することで、あたかも何通りものタイトルを、ディスクの使用量を増やすことなく作ることができるのです。

このように、パーツを集めて作った**仮想のタイトルやチャプター**を、**「タイトル(プレイリスト)」、「チャプター(プレイリスト)」**と呼び、タイトル(オリジナル)、チャプター(オリジナル)と区別します。
本体表示窓や画面表示では、オリジナルを「ORG」、プレイリストを「PL」と表示します。

お知らせ

- タイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)は、それぞれタイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)をもとにして成り立っています。したがって、タイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)に変更を加えたり削除をしたときは、関連するタイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)すべてがその影響を受けます。
- 録画された内容によっては編集できない場合があります。(たとえば静止画を含むタイトルの場合)

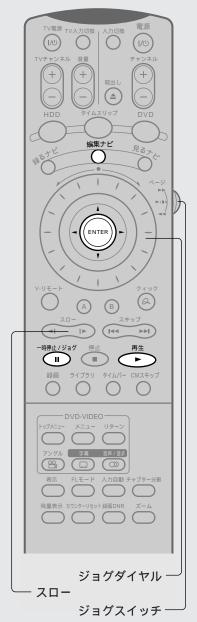
以上をふまえて、実際に編集をしてみましょう。
「好きな場面を集める(プレイリスト編集)」96ページ
「チャプターを作る」90ページ
をご覧ください。

HDD DVD RAM

チャプターを作る

場面をチャプターに分ける

1回の録画で、１つのタイトルができます。そこに含まれるチャプターの数も１つです。これをいくつかのチャプターに分けることで、場面が探しやすくなり、再生時や編集時に便利です。

「編集ナビ」画面を使う

1 **分けたいチャプターを含んだタイトルの再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す**

「編集ナビ　メインメニュー」画面が表示されます。

2 **方向キー（▲/▼/◀/▶）で、「チャプター作成」を選び、「ENTER」ボタンを押す**

「チャプター作成」画面が表示されます。

3 **「再生」ボタンで再生をはじめる**

チャプターの境界にしたい場面をさがします。
ジョグスイッチ、「スロー」、「一時停止／ジョグ」の各ボタンが使えます。

現在の位置はロケーターが示します。

- 他のチャプターを見るには：
  方向キー（▲/▼）でカーソルをサムネイルの列に移動したあと、方向キー（◀/▶）でサムネイルを選びます。
  次のページへ移るときは、ジョグスイッチを上下に動かします。
- チャプターの最初と最後の部分が確認できます。
  サムネイルを選んで「ENTER」ボタンを押すと、そのチャプターの最初と最後の部分を約3秒ずつ再生します。

4 チャプターの境界にしたい場面で、「一時停止／ジョグ」ボタンを押す

画像が一時停止します。

5 方向キー（▲/▼）で、「分割」にカーソルをおき、「ENTER」ボタンを押す

押したところにチャプターの境界が作られ、前後が別々のチャプターになります。

再生中の画像を見ながら

1 チャプターの境界にしたい場面で（一時停止中も可）、「チャプター分割」ボタンを押す

一時停止／ジョグ

押したところにチャプターの境界が作られ、前後が別々のチャプターになります。

• TVお好み再生中とダビング中はチャプター分割はできません。

お知らせ

• 作成できるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。チャプターを結合するなどして数を減らしてください。92
•「チャプター作成」画面は、「見るナビ」画面の「クイックメニュー」で「チャプター作成」を選んでも表示できます。
•「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
• タイトル（オリジナル）の中でチャプター分割を行なっても、関連するタイトル（プレイリスト）には影響しません。
• チャプター分割で設定された位置と実際の再生時のチャプターの切り換わり位置に、若干のずれが生じることがあります。
• 録画中に一時停止を行なった場合、その位置でチャプターが分割されます。

■ チャプターの境界を自動で作成する

タイトルの先頭から、一定の間隔でチャプター境界が作られます。（すでにあるチャプター境界とは別に、新たに追加されます。）

1）90ページの手順1、2を行う

2）「クイック」ボタンを押す

3）方向キー（▲/▼）で、「チャプター自動生成」を選び、「ENTER」ボタンを押す

4）方向キー（▲/▼）で、チャプター境界の間隔を選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだ間隔でチャプター境界が作られます。

チャプターをつなげる

1 つなげたいチャプターを含んだタイトルの再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ　メインメニュー」画面が表示されます。

2 方向キー（▲/▼/◀/▶）で「チャプター作成」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「チャプター作成」画面が表示されます。

3 方向キー（▲/▼）で、カーソルをサムネイルの列に移し、方向キー（◀/▶）で、つなげたいチャプターを選ぶ

ジョグスイッチの上下で前後のページに移動できます。

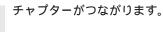
4 「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

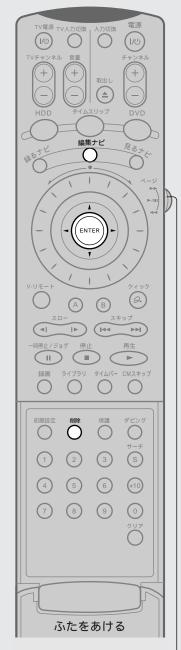
5 方向キー（▲/▼）で、項目を選ぶ

前と結合：
選んでいるチャプターと、その前のチャプターとの間の境界を削除します。
後と結合：
選んでいるチャプターと、その次のチャプターとの間の境界を削除します。
全チャプター結合：
タイトル内の全チャプターをつないで１つのチャプターにします。

6 「ENTER」ボタンを押す

チャプターがつながります。

お知らせ

- 「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
- チャプターをつなぐと、つないだ以降のチャプターはチャプター番号がくり上がります。
- タイトル（オリジナル）の中でチャプター結合を行なっても、関連するタイトル（プレイリスト）には影響しません。また、タイトル（プレイリスト）の中でもチャプター結合はできます。このとき、元となったタイトル（オリジナル）には影響しません。

チャプターを削除する

ジョグスイッチ

1 削除したいチャプターを含んだタイトルの再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ　メインメニュー」画面が表示されます。

2 方向キー(▲/▼/◀/▶)で「チャプター作成」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「チャプター作成」画面が表示されます。

3 方向キー(▲/▼)で、カーソルをサムネイルの列に移し、方向キー(◀/▶)で、削除したいチャプターを選ぶ

ジョグスイッチの上下で前後のページに移動できます。

4 「削除」ボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

5 方向キー(◀/▶)で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

チャプターが削除されます。
- 削除をとりやめるときは「いいえ」を選んで「ENTER」ボタンを押します。

お知らせ

- 「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
- 手順4で「削除」ボタンを押すかわりに、「クイック」ボタンを押して「クイックメニュー」から「チャプター削除」を選んでもチャプター削除ができます。
- 約5秒以下の短いチャプターは削除できないことがあります。また、短いチャプターを削除しても空き容量の表示が変化しない場合があります。
- タイトル(プレイリスト)を削除しても、元となるタイトル(オリジナル)は影響を受けません。
- チャプター(オリジナル)を削除した場合、関連するプレイリストも影響を受けます。
- すべてのチャプターを削除したタイトルは自動的に削除されます。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルのチャプターは削除できません。

ご注意

- チャプターを削除した場合、内容を復元できませんので、削除する際には十分内容をご確認ください。

■ チャプターに名前をつけるには

1) 「見るナビ」画面で、名前をつけたいチャプターを含むタイトルを選び、「A」ボタンを押す

「チャプター一覧」が表示されます。

2) 名前をつけたいチャプターを選び、「クイック」ボタンを押す

3) 「クイックメニュー」から「タイトル情報」を選び、「ENTER」ボタンを押す

4) 画面左下の「チャプター名入力」を選び、「ENTER」ボタンを押す

画面にキーボードが表示されます。

画面下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

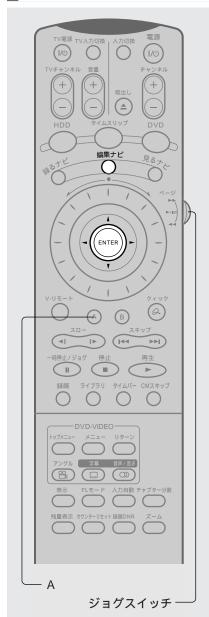
お知らせ

- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字です。
- 名前をつけられるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。

HDD DVD RAM

好きな場面を集める(プレイリスト編集)

編集をするときは「編集ナビ」画面を表示させます。

プレイリストを作る

1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

再生していたときは、再生が停止します。
「編集ナビ　メインメニュー」が表示されます。

2 方向キー(▲/▼/◀/▶)で「プレイリスト編集」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

3 方向キー(▲/▼/◀/▶)で、パーツにするタイトルまたはチャプターを選ぶ

サムネイルは「A」ボタンを押すたびに、タイトルとチャプターとで切り換わります。
ジョグスイッチの上下で前後のページに移動できます。

4 「ENTER」ボタンを押す

選んだパーツを挿入する場所を示すカーソルが出ます。

5 方向キー(◀/▶)で、パーツを入れたい位置にカーソルを移動させ、「ENTER」ボタンを押す

カーソルの位置に、選んだパーツが挿入されます。

6 手順3～5をくり返して、好きな順にパーツを追加する

パーツの追加、削除のしかたは、98ページ「プレイリストを再編集するには」をご覧ください。

7 「編集ナビ」ボタンを押して「プレイリスト編集」画面を消す

お知らせ

- 「プレイリスト編集」画面は、「見るナビ」画面の「クイックメニュー」で「プレイリスト作成」を選んでも表示できます。
- 結合したパーツが不連続の場合、パーツ境界で一時静止状態になる場合があります。
- プレイリスト編集をして作成したタイトルを再生すると、パーツ境界で編集時の位置と誤差が生じることがあります。
- 編集しているタイトル(プレイリスト)自身、およびそれに含まれるチャプター(プレイリスト)は、パーツとして追加することはできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルのタイトルまたはチャプターのプレイリストへの登録はできません。

■ パーツやプレイリストの先頭と最後の部分を確認する

先頭と最後の部分を、約3秒ずつ再生します(プレビュー再生)。

パーツのプレビュー

1) 手順3で、タイトルまたはチャプターを選び、「クイック」ボタンを押す

2) 方向キー(▲/▼)で、「パーツのプレビュー」を選び、「ENTER」ボタンを押す

プレイリストの全パーツプレビュー

方向キー(▲/▼/◀/▶)で「プレビュー」を選び、「ENTER」ボタンを押す

(つづく)

■ プレイリストを再編集するには

パーツを追加したり削除して、プレイリストの内容を修正します。

1) 再編集したいタイトル(プレイリスト)を再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ」画面が出ます。

2) 方向キー(▲/▼/◀/▶)で「プレイリスト編集」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

<u>追加するとき</u>

1) 方向キー(▲/▼/◀/▶)で、移動するパーツを選び、「ENTER」ボタンを押す

2) 方向キー(◀/▶)で、パーツを追加したい場所を選び、「ENTER」ボタンを押す

カーソルの位置に、選んだパーツが挿入されます。

<u>削除するとき</u>

1) 方向キー(▲/▼/◀/▶)で、削除するパーツを選ぶ

2) 「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向キー(▲/▼)で、「パーツ削除」を選び、「ENTER」ボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

4) 方向キー(◀/▶)で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだパーツが削除されます。

<u>お知らせ</u>

- すべてのパーツが削除されたタイトル(プレイリスト)は、自動的に削除されます。
- チャプター(プレイリスト)を削除しても、元となるオリジナルは影響を受けません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルでは、プレイリストの再編集はできません。

■ 同じパーツを使って別のタイトル(プレイリスト)を作るには

1) タイトル(プレイリスト)を再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ」画面が出ます。

2) 方向キー(▲/▼/◀/▶)で「プレイリスト編集」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

3) 方向キー(▲/▼/◀/▶)で「新規作成」を選び、「ENTER」ボタンを押す

プレイリストのタイトル名とパーツの欄が空欄になります。

4) 96ページの手順にしたがって、プレイリストを作る

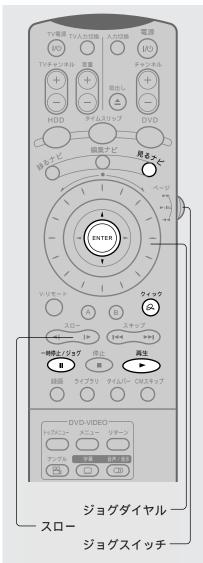
■ 作ったタイトル(プレイリスト)に名前をつけるには

方向キー(▲/▼/◀/▶)で「タイトル名変更」を選び、「ENTER」ボタンを押す

画面にキーボードが表示されます。
画面下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

HDD DVD RAM

場面を選んでサムネイルにする

好きな場面を登録して、タイトルのサムネイル表示として「編集ナビ」画面や「見るナビ」画面などで表示できます。

1 再生中、または停止中に、「見るナビ」ボタンを押す

「見るナビ」画面が表示されます。

2 「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3 方向キー(▲/▼)で「タイトルサムネイル設定」を選び、「ENTER」ボタンを押す

「サムネイル設定」画面が表示されます。

4 「再生」ボタンを押して再生をはじめる

サムネイルにしたい場面をさがします。
ジョグスイッチ、「スロー」、「一時停止／ジョグ」の各ボタンも使えます。

5 サムネイルにしたい場面で「一時停止／ジョグ」ボタンを押して、静止画にする

6 「ENTER」ボタンを押す

静止画がサムネイルとして登録されます。

お知らせ

- サムネイルが登録できるのはタイトルのサムネイルです。チャプターのサムネイルは変更できません。
- 設定されたサムネイルの映像と実際に表示されるサムネイルとで若干のずれが生じることがあります。

HDD DVD RAM

ダビング(コピー/移動)する

録画した内容は、タイトルまたはチャプター単位で内蔵HDDとDVD-RAMディスクの間をダビングできます。

1 再生中、または停止中に、「見るナビ」ボタンを押す

「見るナビ」画面が表示されます。

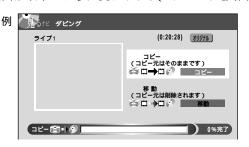
例

2 ダビングするタイトル(またはチャプター)を、方向キー(▲/▼/◀/▶)で選ぶ

- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「ダビング」ボタンを押す

画面が以下のように変わります(「ダビング」画面)。

例

4 方向キー(▲/▼)で、「コピー」または「移動」を選ぶ

コピー： ダビングする内容は、ダビング後もダビング元のディスクに残ります。

移動： ダビングする内容は、ダビング後はダビング元のディスクから消去されます。

お知らせ

内蔵HDDからDVD-RAMディスクにダビングするとき、DVD-RAMのディスクの状態が悪い場合、「移動」によるダビングをすると記録がうまくいかない場合があります。念のため、「コピー」をしてから結果を確認のうえ、内蔵HDDから削除をすることを推奨します。

以下の場合は、設定が自動的に決まります。
コピー：選んだタイトル（または）チャプターが、
・プレイリストのとき
・「削除保護」にしてある（102）のとき
移動：選んだタイトル（または）チャプターがコピー禁止のとき

5 「ENTER」ボタンを押す

コピー／移動がはじまります。
進行状況が画面に表示されます。

お知らせ

- DVD-RAMディスクに記録した番組を内蔵HDDに移動することはできません。
- 内蔵HDDに記録した番組をDVD-RAMディスクへ移動すると、この番組をDVD-RAMディスクから内蔵HDDへ戻すことはできません。このときは、コピーをして、もとの番組を削除してください。
- 本機以外の機器で、1回だけコピーを許可された番組を記録したDVD-RAMディスクから、本機の内蔵HDDにコピーできる場合がありますが、著作権保護技術の働きでその番組は内蔵HDDから再生することはできません。
- DVDビデオディスクやビデオCD、音楽用CD、HDCDのダビングはできません。
- CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RWもダビングできません。
- ディスクの残量が少ないなど、何かの事情でダビングができないときは、画面にメッセージが出ます。そこに書かれた指示にしたがって操作してください。
- 「ダビング」画面は、「見るナビ」画面の「クイックメニュー」から「タイトルダビング」を選んでも表示できます。
- 内容によっては、一部の管理情報や付属情報などがダビングされない場合があります。
- 著作権保護のため1回だけ録画を許された番組を録画した内容は、コピーできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルは、ダビングできません。
- ダビングしようとするプレイリストに、コピーが禁止されているオリジナルのタイトルやチャプターが含まれているときは、ダビングすることができません。このときは、コピーが禁止されているタイトルやチャプターを、いったんプレイリストから削除し、コピー禁止のオリジナルのタイトルやチャプターを、ダビング先にまず移動させます。そのあと、コピー禁止のオリジナルタイトルやチャプターを含むプレイリストを全てコピーして、コピー先のプレイリストで、先に移動したコピー禁止のタイトルやチャプターを、元の位置に追加してください。ダビング元に、移動したはずのコピー禁止のオリジナルタイトルやチャプターを含んだプレイリストが残っていると、そのプレイリストは正常に再生できなくなりますのでご注意ください。

■ コピー／移動を途中で中止したいときは

1）コピー／移動中に、「クイック」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2）方向キー（▲/▼）で「ダビング中止」を選び、「ENTER」ボタンを押す

お知らせ

- 中止した場合は、途中まで行なったコピー／移動が無効になります。

HDD DVD RAM

録画内容を保護する

録画した内容を削除できないように保護します。 保護はタイトル(オリジナル)単位で行ないます。

1 再生中または停止中に、「見るナビ」ボタンを押す

「見るナビ　タイトル一覧」が表示されます。

2 方向キー(▲/▼/◀/▶)で、削除保護したいタイトル(オリジナル)を選ぶ

3 「保護」ボタンを押す

タイトルを削除保護するメッセージが出ます。
削除保護されたタイトルは：
- 削除しようとすると禁止のメッセージが出て、保護を解除しない限り削除できなくなります。
- 「見るナビ」画面で「🔒」のマークがつきます。

■ 削除保護を解除するには

「見るナビ」画面で、削除保護を解除したいタイトルを選び、もう一度「保護」ボタンを押す

HDD DVD RAM

録画内容を削除する

録画した内容を削除します。削除した場合は、内容は復元できませんので、削除する前には十分内容をご確認ください。

1 再生中または停止中に、「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ

「見るナビ　タイトル一覧」が表示されます。

2 方向キー（▲/▼/◀/▶）で、削除したいタイトルまたはチャプターを選ぶ

- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「削除」ボタンを押す

確認のメッセージが出ます。

4 削除するときは、方向キー（◀/▶）で「はい」を選び、「ENTER」ボタンを押す

削除をしないときは、「いいえ」を選び、「ENTER」ボタンを押します。

お知らせ

- タイトルまたはチャプターの削除によって、その後のタイトル番号およびチャプター番号がくり上がります。
- タイトル（オリジナル）を削除した場合、関連したプレイリストも影響を受けます。

機能設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

初期設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 停止中に、「初期設定」ボタンを押す

機能設定画面が表示されます。

2 方向キー（◀/▶）で、設定したい項目のグループを選び、「ENTER」ボタンを押す

項目の内容は次のページをご覧ください。

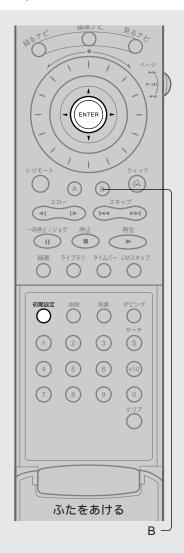
例：「音声設定」を選んだとき

3 方向キー（▲/▼）で、設定したい項目を選び、「ENTER」ボタンを押す

4 109ページ以降の説明を参照して、方向キー（▲/▼）などで設定し、「ENTER」ボタンを押す

- 同じグループの他の項目を設定するときは、手順3、4をくり返します。
- 他のグループに移るには、「B」ボタンを押してから、手順2～4を行います。

5 「初期設定」ボタンを押す

画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

- 機能設定画面は「初期設定」ボタンを押すと消えます。
- 「初期設定」ボタンは再生中にも押せますが、項目によっては表示が薄くなって選べない場合があります。これらの項目はいったん再生を止めてから設定してください。
- 「初期設定」ボタンは、録画中、タイムスリップ再生中には使えません。

項目	設定内容	ページ
言語設定		
DVDディスクメニュー言語 DVD VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	109
DVD音声言語 DVD VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	109
DVD字幕言語 DVD VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	109

項目	設定内容	ページ
映像設定		
TV画面形状 HDD DVD RAM DVD VIDEO	接続してあるテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	110
画質 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD	画質を調整します。(画面での黒レベルを設定します)	110
カスタム画質選択 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD	保存してある3種類のカスタム画質の中から好きなものを選びます。	110
カスタム画質設定 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD	画質を調整して保存します。	110

項目	設定内容	ページ
音声設定		
音声出力設定 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	111
DVD Dレンジコントロール HDD DVD RAM DVD VIDEO	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	111
カラオケボーカル DVD VIDEO	DVDカラオケ対応ディスクで再生ボーカルを出力するかしないかを設定します。	112
CD出力減衰 CD	音楽用CD(HDCD)を再生中、音が歪む時に設定します。	112
3D(N-2-2)再生設定 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	2つのスピーカーだけでも広がりと奥行き感のある音響効果で再生する機能を設定します。	112

項目	設定内容	ページ
画面表示設定		
画面表示 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	本機の動作状態(「▶」など)を画面に表示するかどうかを設定します。	113
透過度 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	画面表示を出しているときの、その下の画像に対する濃さを設定します。	113
スタートアップ HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	電源を入れたときに自動的に表示する画面の有無を設定します。	113
ブラウン管保護 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD	静止画のテレビ画面への焼付きを防止する機能を設定します。	113

(つづく)

初期設定の変更と機能の設定(つづき)

項目	設定内容	ページ
各種操作設定		
静止画 DVD VIDEO	一時停止させた時の画像の解像度を設定します。	113
DVDパレンタルロック DVD VIDEO	パレンタルロック機能の内容や入/切を設定します。	113
ブザー設定 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。	114
リモコンモード HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD	本機が受けつけるリモコンのコードを切り換えます。	114
DVDビデオタイトル停止 DVD VIDEO	DVDビデオディスクの再生時、一つのタイトルが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。	114
PBC VCD	ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面再生をするかどうかを設定します。	114
HDDパワーモード HDD	無操作時の内蔵HDDの回転を、一定時間経過後に自動的に止める省電力機能を設定します。	115

項目	設定内容	ページ
録画機能設定		
マニュアル画質レート HDD DVD RAM	録画時にビットレートをマニュアルで設定する場合のために、その初期値をあらかじめ決めておきます。	115
録音入力レベル HDD DVD RAM	録画する音声のレベルを設定します。	115
音質 HDD DVD RAM	録画する音声の記録方式を設定します。	116
スチル集再生速度 HDD DVD RAM	静止画集を再生するときの、静止画1枚あたりの表示時間を設定します。	116
録画DNR HDD DVD RAM	録画時に3次元デジタルノイズリダクションを使用するかどうかを設定します。	116
3次元Y/C分離 HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD	3次元デジタルフィルターによるY/C(輝度/色)分離を行うかどうかを設定します。	116
入力4設定 —	入力4端子の接続切換を設定します。	116
タイトル毎レジューム設定 HDD DVD RAM	録画した内容を再生するときに、タイトルごとのレジューム再生機能を有効にするかどうかを設定します。	116

項目	設定内容	ページ
初回設定		
時刻設定 —	本機内蔵の時計を合わせます。	準備編 29
チャンネル設定 —	本機でテレビ放送(地上波チャンネル)を受信できるようにチャンネルを合わせます。	準備編 30
BSチャンネル設定 —	本機でBS放送を受信できるようにチャンネルを合わせます。	準備編 36
ジャストクロック —	NHK教育テレビの時報を利用して、本機の時計の誤差を自動的に調整する機能を働かせるかどうかを設定します。	準備編 38
BSアンテナ電源設定 —	接続したBSアンテナへ供給する電源の設定をします。	準備編 40

言語設定

DVDディスクメニュー言語

DVD VIDEO

英語：
英語でディスクメニューを表示します。

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。

その他：
ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「ENTER」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1)「言語コード表」118で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向キー(▲/▼)で、またはジョグダイヤルを回して、コードの第1字を選ぶ

3) 方向キー(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向キー(▲/▼)で、またはジョグダイヤルを回して、コードの第2字を選ぶ

4)「ENTER」ボタンを押す

DVD音声言語

DVD VIDEO

英語：
英語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「ENTER」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1)「言語コード表」118で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向キー(▲/▼)で、またはジョグダイヤルを回して、コードの第1字を選ぶ

3) 方向キー(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向キー(▲/▼)で、またはジョグダイヤルを回して、コードの第2字を選ぶ

4)「ENTER」ボタンを押す

お知らせ

• ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVD字幕言語

DVD VIDEO

英語：
英語で字幕を表示します。

日本語：
日本語で字幕を表示します。

字幕なし：
字幕を表示しません。

その他：
字幕を表示する言語が選べます。
「ENTER」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1)「言語コード表」118で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向キー(▲/▼)で、コードの第1字を選ぶ

（つづく）

3) 方向キー(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向キー(▲/▼)で、またはジョグダイヤルを回して、コードの第2字を選ぶ

4)「ENTER」ボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

映像設定

TV画面形状

HDD DVD RAM DVD VIDEO

接続してあるテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。
設定の詳細は、準備編「テレビ画面サイズの設定をする」44をご覧ください。

画質

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

標準：
普通の明るさの画面です。

明るい：
「標準」より明るい画面になります。

カスタム画質選択

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

記憶させておいた画質の設定を3種類(設定1／設定2／設定3)のうちから選びます。

カスタム画質設定

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

調整した画質の設定を3種類まで記憶できます。

1) 方向キー(▲/▼)で、記憶する番号(1〜3)を選び、「ENTER」ボタンを押す

2) 方向キー(▲/▼)で調整項目を選び、方向キー(◀/▶)で値を調整する

明るさ
(－7)暗くなる ⇔ 濃くなる(＋7)

コントラスト
(－7)淡くなる ⇔ 濃くなる(＋7)

色の濃さ
(－7)薄くなる ⇔ 濃くなる(＋7)

色調
(－7)赤色が強くなる ⇔ 緑色が濃くなる(＋7)

エッジ強調
(－7)輪郭をソフトに ⇔ 輪郭をシャープに(＋7)

3) 調整が終わったら、「ENTER」ボタンを押す

お知らせ

• 出力4端子(D1端子およびコンポーネントビデオ端子Y、C_B、C_R)では、「色調」の調整ができません。

音声設定

音声出力設定

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

接続に合わせて選びます。
出力される音声の種類については 49 をご覧ください。

PCM：
2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、PCM(2ch)に音声を変換して出力します。

アナログ 2ch：
テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

DVD Dレンジコントロール

HDD DVD RAM DVD VIDEO

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

切：
Dレンジコントロール機能が働きません。

入：
Dレンジ機能が働きます。

お知らせ

• ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
• この機能の効果のレベルはディスクによって変わります。

カラオケボーカル

DVD VIDEO

切：
ボーカル(歌声)を出力しません。

入：
ボーカル(歌声)を出力します。

お知らせ
- ドルビーデジタルマルチチャンネルで記録されたDVDカラオケディスクのときだけ、この機能が働きます。
- カラオケをお楽しみになるときは、本機にアンプ等を接続してください。

CD出力減衰

CD

HDCDの出力レベルは、従来の音楽用CDより約6dB高くなっています。
接続している機器(テレビやステレオレシーバーなど)によっては、入力される広い信号レベルに対応できず、音声が歪むことがあります。

切：
通常の設定です。

入：
HDCDの音声が歪むときに設定します。再生される音量が少し低くなります。

3D(N-2-2)再生設定

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

2つのスピーカーだけでも広がりと奥行きや広がりのある音響効果で再生できます。

切：
3D効果は働きません。

入：
3D効果は働きます。

ヘッドホン：
テレビやAVアンプのヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用する場合に、3D効果が働きます。

お知らせ
- 3D再生すると音量が変わったように感じることがあります。
- 再生する音の音声方式や設定によっては、3Dが働かないか、または十分に効果が出ないことがあります。49
- 3D再生中は、ドルビープロロジックサラウンドが働かないかまたは通常と違って聞こえることがあります。

画面表示設定

画面表示

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

切：
「 ▶ 」などの動作状態を画面に表示しません。

入：
「 ▶ 」などの動作状態を画面に表示します。

透過度

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

画面表示の濃さを変えて、下の画像が透けて見える度合いを選びます。

100%：75%：50%

スタートアップ

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

切：
スタートアップ画面を表示しません。

入：動画：
電源を入れたときに、自動的にスタートアップ画面を表示します。

ブラウン管保護

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

再生画像の一時停止状態が続くと、テレビ画面の焼付き防止のために、テレビ画面などに戻る機能です。

切：
ブラウン管保護機能は働きません。

入：
ブラウン管保護機能が働きます。

各種操作設定

静止画

DVD VIDEO

自動：
通常の設定です。動きのある画像でもぶれずに一時停止します。

フレーム：
動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

DVDパレンタルロック

DVD VIDEO

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

お願い

- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。
  必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

入：
パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。
「ENTER」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～3)を行ってください。

切：
パレンタルロック機能は働きません。
「ENTER」ボタンを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

1) 番号ボタンを押して4桁の暗証番号を入力し、「ENTER」ボタンを押す

番号を入れまちがえたときは、「ENTER」ボタンを押す前に「クリア」ボタンを押して、入力し直します。

2) 方向キー(◀/▶)で、設定したい規制レベルの国を選ぶ

USA：アメリカ合衆国

JAPAN：日本

（つづく）

3) 方向キー(▲/▼)で、設定したい規制レベルを選び、「ENTER」ボタンを押す

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ再生できなくなります。

「JAPAN」を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「USA」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　レベル3：PG
レベル6：R　レベル1：G
レベル4：PG13

■ パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順1)～3)を行う

■ 暗証番号を変えるには

1)「入」「切」を選んだあとで、「停止」ボタンを4回押し、さらに「ENTER」ボタンを押す

暗証番号が解除されます。

2) 番号ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力する

3)「ENTER」ボタンを押す

ブザー設定

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。

切：
ブザー音は鳴りません。

入：
ブザー音が鳴ります。

お知らせ

• リモコンからの予約転送時、本機からの警告音は消せません。

リモコンモード

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD CD

リモコンのモードを設定します。東芝製の2台のHDD&DVDビデオレコーダーを使うときはそれぞれ異なったリモコンモードに設定すると、誤動作の防止に役立ちます。
設定の詳細は、準備編「2台のHDD&DVDビデオレコーダーを本機のリモコンで操作する」48をご覧ください。

DVDビデオタイトル停止

DVD VIDEO

無：
1つのタイトルが終わっても続けて再生します。

有：
1つのタイトルが終わったら再生を停止します。

PBC

VCD

切：
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

入：
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

HDDパワーモード

HDD

標準：
省電力モードの設定をしません。

セーブ：
約5分間内蔵HDDに何もアクセスがないときに、内蔵HDDの回転を止めます。（省電力モード）

録画機能設定

マニュアル画質レート

HDD DVD RAM

録画するときのビットレートの値をあらかじめ決めておきます。
ビットレート値によって画質と録画可能時間が変わります。ここで設定した値が録画するときのビットレートの値になります。

1）方向キー（▲/▼）で、設定する録画先を選ぶ

HDD：内蔵HDD
DVD：DVD-RAMディスク

2）ジョグダイヤルを回して、ビットレート値を設定する

お知らせ

- 音質の設定（DD D1、DD D2、L-PCM）内容によって設定できるビットレート値が変わります。

録音入力レベル

HDD DVD RAM

録画時の音声入力レベルを設定します。
方向キー（▲/▼）で、設定する項目を選び、方向キー（◀/▶）で入力レベルを設定します。

VHF・UHF （L）：
地上波の左チャンネルの入力レベル

（R）：
地上波の右チャンネルの入力レベル

BS(A Mode)（L）：
衛星放送Aモード音声左チャンネルの入力レベル

（R）：
衛星放送Aモード音声右チャンネルの入力レベル

BS(B Mode)（L）：
衛星放送Bモード音声左チャンネルの入力レベル

（R）：
衛星放送Bモード音声右チャンネルの入力レベル

外部入力1～4（L）：
外部入力端子の左チャンネルの入力レベル

（R）：
外部入力端子の右チャンネルの入力レベル

音質

HDD DVD RAM

内蔵HDDとDVD-RAMディスクの各記録先に設定できます。
方向キー(▲/▼)で記録先を選び、ジョグダイヤルを回して音質を選びます。

DD D2：
ドルビーデジタルHi-Fi(ドルビーデジタルハイファイ)音声で録画します。

DD D1：
ドルビーデジタル標準(ドルビーデジタルノーマル)音声で録画します。

L-PCM：
リニアPCM音声で録画します。

スチル集再生速度

HDD DVD RAM

静止画集を再生するときの、静止画1枚あたりの表示時間を設定します。表示の単位は秒です。
1秒：2秒：3秒：5秒：10秒：ディスク指定値

録画DNR

HDD DVD RAM

ノイズの多い映像からノイズを低減する3次元デジタルノイズリダクションのレベルを、映像に合わせて選びます。

切：
3次元デジタルノイズリダクションは働きません。

弱：
通常レベルの効果です。

強：
効果が強まります。

3次元Y／C分離

HDD DVD RAM DVD VIDEO VCD

3次元デジタルフィルターによるY/C(輝度／色)分離で、にじみの少ない再生画像が見られます。

切：
この機能は働きません。

入：
この機能が働きます。

入力4設定

背面入力4端子の用途を設定します。

ライン：
入力4端子に、ビデオデッキやカメラ一体型ビデオなどの外部機器をつないで使うとき。

BSデコーダ：
入力4端子に、BSデコーダをつないで使うとき。

タイトル毎レジューム設定

HDD DVD RAM

前回止めた位置から再生を再開する機能(レジューム再生)を、ディスク内のすべてのタイトルに働かせるか、最後に再生をしたタイトルだけに働かせるかを選びます。

切：
最後に再生したタイトル以外ではレジューム再生は働きません。

入：
ディスク内の全タイトルにレジューム再生が働きます。

初回設定

時刻設定

準備編29ページをご覧ください。

チャンネル設定

準備編30ページをご覧ください。

BSチャンネル設定

準備編36ページをご覧ください。

ジャストクロック

準備編38ページをご覧ください。

BSアンテナ電源設定

準備編40ページをご覧ください。

言語コード表

記号	言語名
ーーー	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語
LO	ラオス語
LT	リトアニア語

記号	言語名
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語
SM	サモア語
SN	ショナ語

記号	言語名
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

録画画質設定と音声設定

	音声設定					
	DD D1		DD D2		L-PCM	
画質設定	DVD	HDD	DVD	HDD	DVD	HDD
SP	○	○	○	○	×	×
LP	○	○	○	○	×	×
MN	○	○	○	○	○	○
ジャスト	○	○	○	○	○	○

その他

- 故障かな…？と思ったら
- 仕様

故障かな…？と思ったら

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

電源

■ 電源が入らない

- 電源コードが抜けている。
  → 電源コードをしっかり差し込む。

TV接続

■ テレビの映像が出ない

- 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、もしくは外れかけている。
  → 本機とテレビとの接続コードをしっかり差し直す。
- テレビ側の入力切換が間違っている。
  → 本機が接続している入力端子にテレビの入力切換を合わせる。

TV受信

■ テレビが映らない

- アンテナ線が外れている。
  → アンテナ線を差し直す。

■ テレビがきれいに映らない

- チャンネルの設定またはチャンネルの微調整が不十分。
  → チャンネル設定またはチャンネル微調整を再設定する。（「準備編」30）
- アンテナ線が外れかけている。
  → アンテナ線をしっかり差し込む。
- 電波が弱い。
  → アンテナの設置方向を調整するか、別売りのアンテナブースターを使用する。

BS受信

■ 衛星放送が映らない

- BSアンテナ線が外れている。
  → BSアンテナを差し直す。
- BSアンテナ電源が供給されていない。
  → BSアンテナ電源を設定する。

■ 衛星放送がきれいに映らない

- BSアンテナ線が外れかけている。もしくはBSアンテナの方向がずれている。
  → BSアンテナ線を差し直す。もしくはBSアンテナの設置方向を調整する。

■ WOWOW、デジタルCS／BS放送が映らない

- デコーダの接続方法が間違っている。
  → 正しい入力端子に接続し直す。（「準備編」24 25）

再生

■ DVDやCDの再生ができない

- 記録されているフォーマットが未対応のフォーマットである。またはリージョン番号が2もしくはALL以外である。
  → ディスクを確認する。
- ディスクに汚れまたは傷が付いている。
  → ディスクを交換する。
- 内蔵HDDモードになっている。
  → 「DVD」ボタンを押す。

■ 内蔵HDDが再生できない

- DVDモードになっている。
  → 「HDD」ボタンを押す。

記録

■ DVD-RAMディスクに記録ができない

- ディスクに誤消去防止がされている。
  → ディスクのライトプロテクトタブを「PROTECT」の反対側にする。(7)
- ディスクの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する(103)、もしくは新たなディスクを準備する。

■ 内蔵HDDに記録ができない

- DVDモードになっている。
  →「HDD」ボタンを押す。
- 内蔵HDDの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する(103)、もしくはDVD-RAMに移動する(100)。

予約

■ 録画予約ができない

- 時計の時刻設定がされていない。
  → 時刻設定をする。(「準備編」29)
- 予約内容がいっぱいになった。
  → 不要な予約を取り消す。(65)

■ Gコード予約が正しく働かない

- 地域番号またはガイドチャンネルが正しく設定されていない。
  → 地域番号またはガイドチャンネルを正しく設定し直す。(「準備編」30 32)

リモコン

■ リモコンがきかない

- リモコンの電池が消耗している。
  → 電池を交換する。(「準備編」14)
- リモコンが受光部を向いていない。
  → リモコン送信部を本機受光部に向ける。
- リモコンと受光部が遠すぎる。
  → 約7m以内のところで操作する。
- リモコンと受光部の間に障害物がある。
  → 障害物を取り除く。
- リモコンモードがあっていない。
  → 本機とリモコンのリモコンモードを合わせる。(「準備編」48)

時計

■ 時計表示が点滅している

→ 時計の設定をやり直す。

■ アフターサービスをご依頼になる前に

本機を修理に出す前には、内蔵HDDの内容をDVD-RAMディスクにダビングしてください。修理の際に内蔵HDDの記録内容が消える場合があります。内蔵HDDが異常になった場合でも、再生できるものはダビングしてください。修理の依頼をされるときは、付属の診断カルテへの記入をお願いします。

仕様

■ **動作時消費電力**

70W（BSアンテナ供給時75W）

■ **待機時消費電力**

1.8W以下

■ **電源**

AC100V　50/60Hz

■ **質量**

8.9kg

■ **外形寸法**

幅430×高さ120×奥行358mm
（ファンケース含む）

■ **受信チャンネル**

VHF：1～12CH、UHF：13～62CH、
CATV：C13～C63CH

■ **アンテナ入出力端子**

VHF/UHF：75Ω　F型コネクター

■ **BS受信チャンネル**

SHF（BS）：1、3、5、7、9、11、13、
15CH

■ **BSアンテナ入出力端子**

75Ω　F型コネクター、
入力端子（最大DC15V、4W）

■ **検波入出力端子**

0.67Vp－p（75Ω）不平衡、ピンジャック

■ **ビットストリーム入出力端子**

0.5Vp－p（75Ω）不平衡、ピンジャック

■ **信号方式**

日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

■ **使用レーザー**

半導体レーザー　波長650nm/780nm

■ **フォーマット**

DVDビデオレコーディングフォーマット

■ **録画方式**

MPEG2

■ **録音方式**

ドルビーデジタル、リニアPCM

■ **録画使用ディスク**

DVD-RAMディスク（4.7GB／9.4GB）

■ **内蔵HDD容量**

30GB

■ **映像入力**

1.0Vp－p（75Ω）、同期負、ピンジャック
×4系統、背面3、前面1（前面は切換スイッチで入出力兼用）

■ **映像出力**

1.0Vp－p（75Ω）、同期負、ピンジャック
×4系統、背面3、前面1（前面は切換スイッチで入出力兼用）

■ **S1／S映像入力**

（Y）1.0Vp－p（75Ω）、同期負、ミニDIN4ピン×4系統

（C）0.286Vp－p（75Ω）、背面3、
前面1（前面は切換スイッチで入出力兼用）

■ **S1／S映像出力**

（Y）1.0Vp－p（75Ω）、同期負、ミニDIN4ピン×4系統

（C）0.286Vp－p（75Ω）、背面3、
前面1（前面は切換スイッチで入出力兼用）

■ **コンポーネント映像出力（Y、CB、CR）**

Y出力（緑）　1.0Vp－p（75Ω）、同期負、
ピンジャック×1系統

CB、CR出力（青、赤）　0.7Vp－p（75Ω）、
ピンジャック×各1系統

■ **D1端子出力**

14ピン、2列、1.27mmピッチ　出力信号D1
Y出力 1.0Vp－p（75Ω）
PB出力 0.7Vp－p（75Ω）
PR出力 0.7Vp－p（75Ω）

■ **音声入力**

2.0V(rms)、50kΩ以下、ピンジャック
(L、R)×4系統
背面3、前面1(前面は切換スイッチで入出力兼用)

■ **音声出力**

2.0V(rms)、200Ω以上、ピンジャック
(L、R)×4系統
背面3、前面1(前面は切換スイッチで入出力兼用)

■ **音声出力**
(ビットストリーム／PCM光端子)

光コネクター×1系統

■ **音声出力**
(ビットストリーム／PCM同軸端子)

0.5Vp−p (75Ω)、ピンジャック×1系統

■ **デコーダ入力**

映像：1.0Vp−p音声：2.0V(rms)
2系統
BSデコーダは入力4端子兼用
CSチューナー、BSデジタルチューナーは入力3端子兼用

■ **リモコン**

ワイヤレスリモコン(SE-R0046)

■ **使用条件**

温度：5°C〜35°C、動作姿勢：水平

■ **時計表示**

12時間デジタル表示(AM／PM)

■ **時間精度**

商用周波数(50/60Hz)カウント式

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは多少異なる場合があります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、たいせつに保管してください。

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、ＨＤＤ＆ＤＶＤビデオレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、最低8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または当社の「ご相談センター」にお問い合わせください。

保証期間
お買い上げの日から6ヶ月間です。ユーザー登録をされたお客様は、お買い上げの日から１年間となります。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、運転を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品　　名	ＨＤＤ&ＤＶＤビデオレコーダー	
形　　名	RD-2000	
お買い上げ日	年　　月　　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お　名　前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　　ー

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』　フリーダイヤル（トーシバ　ヨイ）**0120-1048-41**

新製品などの商品選び、お取扱い、お手入れ方法などのご相談

『東芝家電ご相談センター』　フリーダイヤル（トーシバ　ハロー）**0120-1048-86**

携帯電話、PHSからのご利用は (03)3426-1048
FAX (03)3425-2101(365日・8：00～20：00受付)

※電話受付：365日・24時間受付
※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1丁目1番1号
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。
79077133
Ⓢ 9876120002